

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITTO 日東工業株式会社

証券コード：6651

(2019年11月27日開催)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

NITTO 日東工業株式会社

1

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

目次

2020年3月期
第2四半期

1 2020年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

1 2020年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

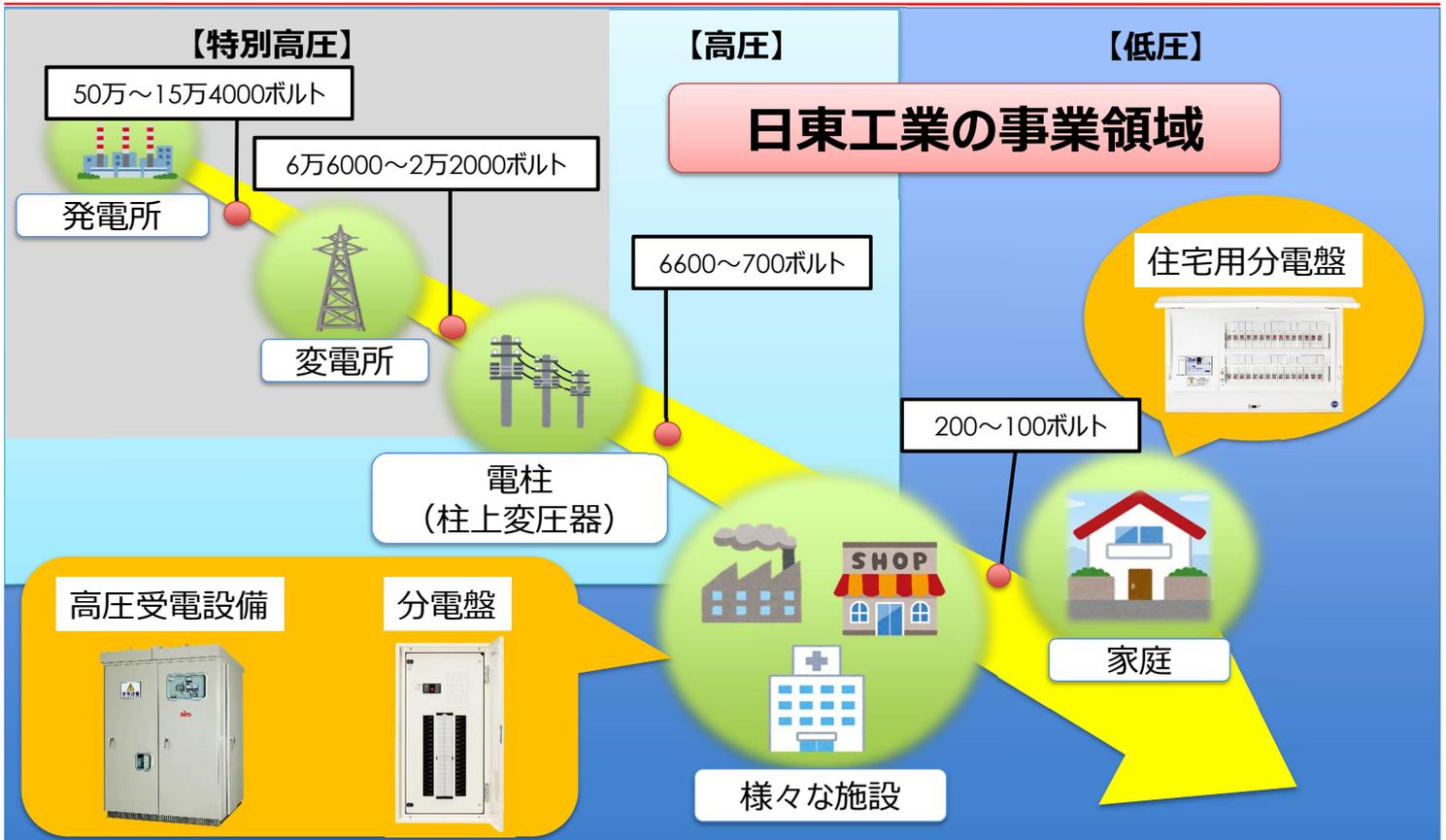
5 参考資料

第2四半期 連結決算ハイライト

- 2020年3月期 第2四半期業績は増収増益
- 配電盤関連製造事業や情報通信関連流通事業が業績を牽引
- 2018年10月に実施した価格改定や、前第4四半期に子会社化した北川工業グループが業績に寄与
- 四半期純利益は、資本業務提携先の株式時価下落に伴い特別損失を計上したことなどにより、他利益項目に対し、上振れが小さい結果となる

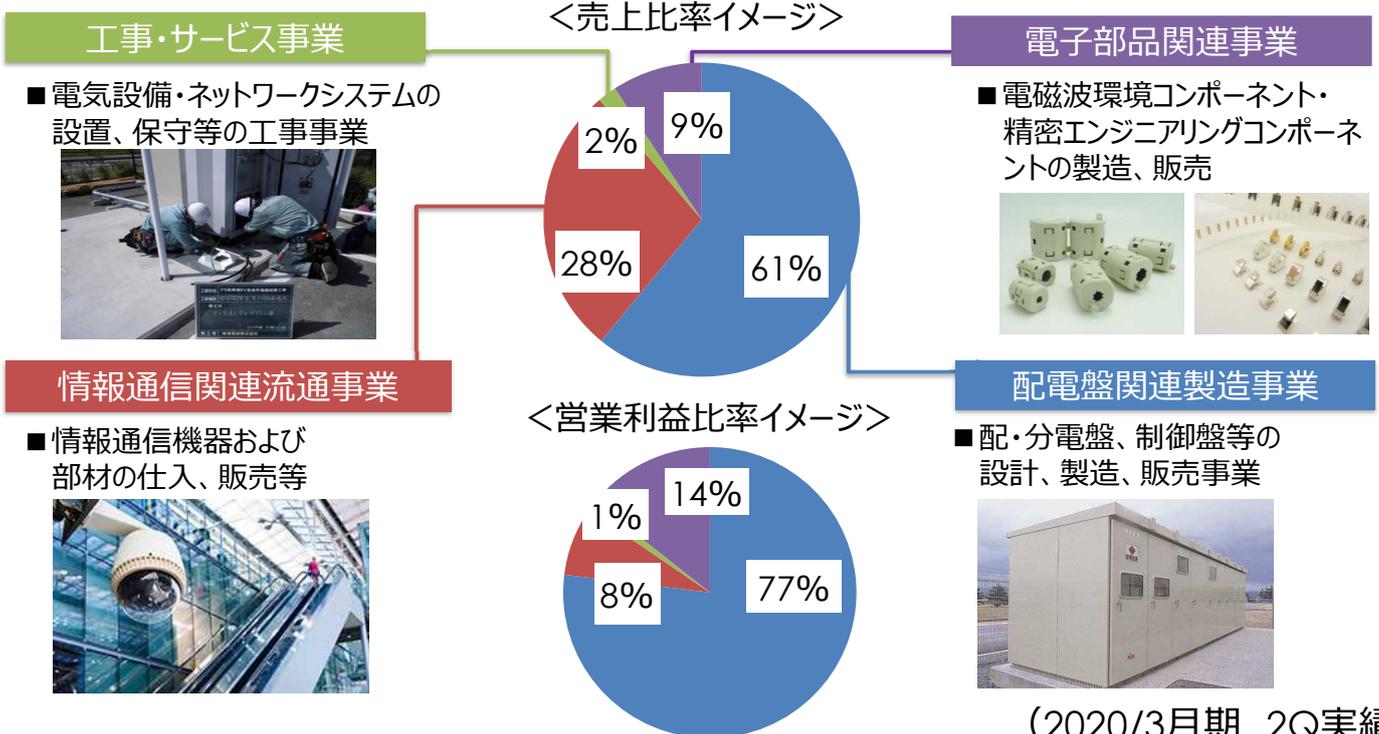
(単位：百万円)

決算期	2019/3	2020/3			
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高	51,742	60,000	64,887	+25.4%	+8.1%
営業利益	2,030	3,400	5,072	+149.9%	+49.2%
経常利益	2,030	3,400	4,852	+139.0%	+42.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,181	2,800	3,124	+164.5%	+11.7%



連結事業内容（4つの事業セグメント）のご紹介

配電盤関連製造事業が売上の約6割、利益の約8割を占める



第2四半期 セグメント別 決算ハイライト

2020年3月期
第2四半期

- 配電盤関連製造事業は、国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及により既存市場の売上が増加したほか、学校空調に関連した高圧受電設備等の売上増加や価格改定効果などにより増収増益
- 情報通信関連流通事業は大型オフィス移転やデータセンター市場における案件獲得のほか、ネットワークカメラ関連商材の売上増加により増収増益
- 工事・サービス事業は、高圧受電設備等に関連した工事の売上増加により増収。一方、人件費や経費等の増加により減益
- 電子部品関連事業は、輸出向けの半導体製造装置や工作機器に関連した製品の売上が弱い動きをみせたが、国内外の業務用エアコン関連製品や自動車関連市場の売上が堅調に推移

	セグメント別	2019/3	2020/3			
		2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率
売上高	配電盤関連製造事業	36,281	37,900	39,557	+9.0%	+4.4%
	情報通信関連流通事業	14,318	14,800	18,074	+26.2%	+22.1%
	工事・サービス事業	1,142	1,200	1,257	+10.0%	+4.8%
	電子部品関連事業	(5,982)	6,100	5,997	(+0.2%)	△1.7%
	合計	51,742	60,000	64,887	+25.4%	+8.1%
営業利益	配電盤関連製造事業	1,640	-	3,896	+137.5%	-
	情報通信関連流通事業	304	-	385	+26.5%	-
	工事・サービス事業	75	-	59	△21.4%	-
	電子部品関連事業	(768)	-	723	(△5.9%)	-
	合計	2,030	-	5,072	+149.9%	-

※ () 内は連結前の北川工業実績

第2四半期 配電盤関連製造事業（部門別売上高）

2020年3月期
第2四半期

- 国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及により既存市場の売上が増加したほか、学校空調に関連した高圧受電設備等の売上増加、2018年10月に実施した価格改定効果などにより増収
- 遮断器・開閉器部門は、新愛知電機製作所の機器事業の売上が減少したことなどにより減収

部門別 売上高		2019/3	2020/3			
		2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率
製造事業 配電盤関連	配電盤	19,819	20,500	22,319	+12.6%	+8.9%
	キャビネット	10,794	11,700	11,420	+5.8%	△2.4%
	遮断器・開閉器	2,606	2,500	2,520	△3.3%	+0.8%
	パーツ・その他	3,061	3,200	3,297	+7.7%	+3.0%
合計		36,281 (1,529)	37,900	39,557 (1,974)	+9.0% (+29.1%)	+4.4%
連結全体合計		51,742	60,000	64,887	+25.4%	+8.1%
連結売上構成比		70.1%	63.2%	61.0%	△9.1%	-

※ () 内はセグメント間の内部売上高

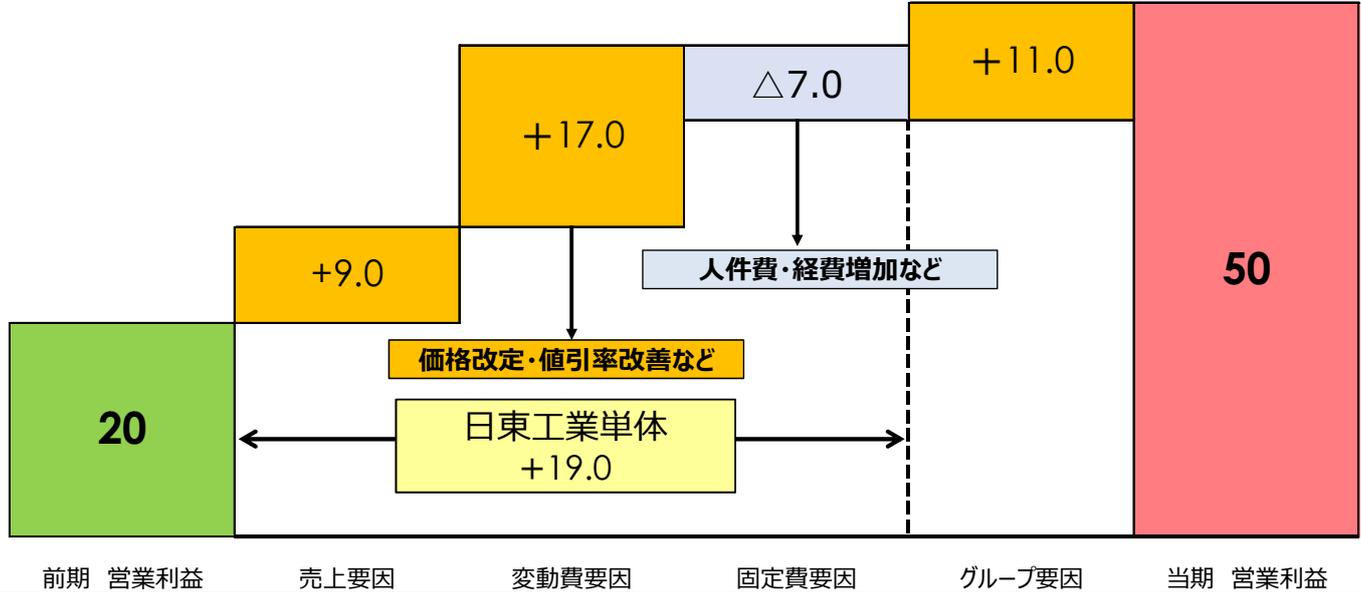
第2四半期 連結営業利益の増減要因（前年同期比）

2020年3月期
第2四半期

- 日東工業単体要因では、人件費等の増加により固定費は悪化するも、売上増加による限界利益の増加や、価格改定および値引率の改善（変動費要因）などにより大幅な増益となる
- グループ要因では、新愛知電機製作所が減益となったものの、前第4四半期に子会社化した北川工業グループの業績寄与や海外子会社の赤字縮小のほか、機能子会社の増益などにより利益を押し上げる結果となる

【2019/3月期 2Q実績】

【2020/3月期 2Q実績】



第2四半期 連結営業利益の増減要因（計画比）

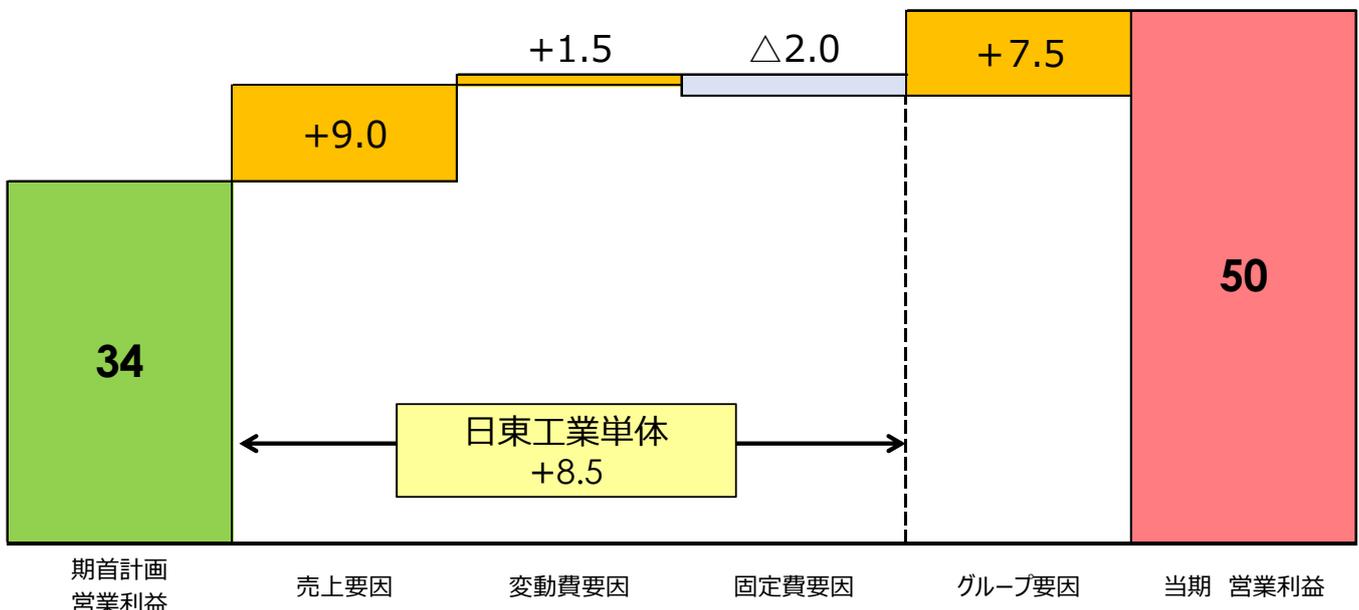
2020年3月期
第2四半期

- 日東工業単体要因では、販売数量増加による利益の増加（売上要因）を見込んでいなかったが、既存市場の売上増加や学校空調に関連した案件獲得などにより販売数量が増加し、利益を押し上げる結果となる
- グループ要因では、情報通信関連流通事業や機能子会社の増益などが計画を上回る結果となる

(単位：億円)

【2020/3月期 2Q期首計画】

【2020/3月期 2Q実績】



第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2020年3月期
第2四半期

(単位：百万円)

2019/3 2Q	
現金及び現金同等物の期首残高	28,283
営業活動によるキャッシュフロー	3,020
投資活動によるキャッシュフロー	△737
財務活動によるキャッシュフロー	△613
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△78
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	—
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	29,873

2020/3 2Q	
現金及び現金同等物の期首残高	38,934
営業活動によるキャッシュフロー	5,929
投資活動によるキャッシュフロー	7,152
財務活動によるキャッシュフロー	△17,912
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△138
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	96
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	34,061

<2020/3 2Q 主な要因>

■ 営業活動によるCF

・税引前利益の増加	+2,736
・仕入債務増減額の差異	+768
・法人税等の支払額増加	△120
・投資有価証券売却益の差異	△247
・投資有価証券評価損益の差異	+215

■ 投資活動によるCF

・定期預金の払戻による収入	+4,104
・投資有価証券の売却及び償還による収入の増加	+3,891

■ 財務活動によるCF

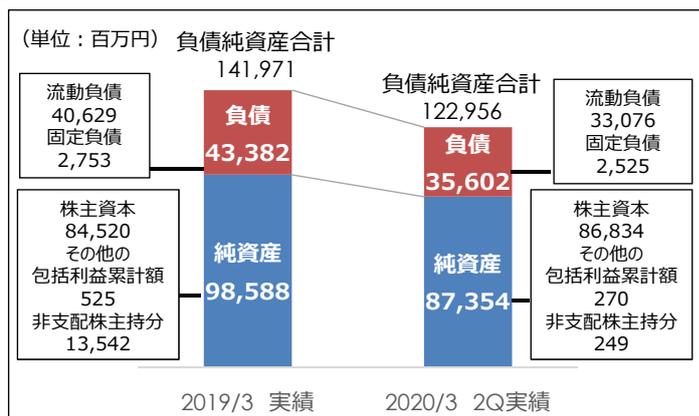
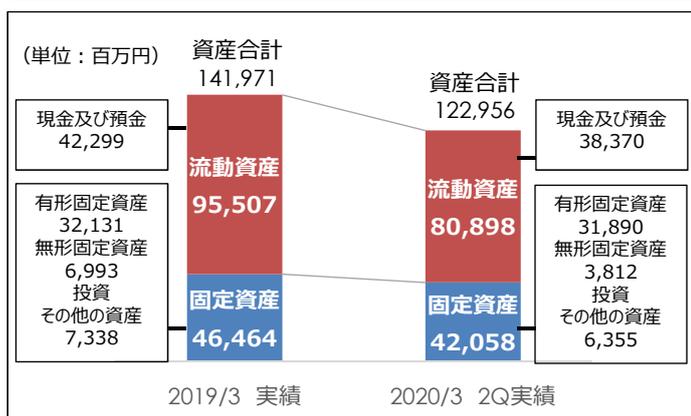
・短期借入金の純増減額の差異	△6,881
・子会社の自己株式の取得による支出の増加	△9,342

※数値は前期比増減額

第2四半期 連結資産の概要

2020年3月期
第2四半期

- 北川工業完全子会社化に伴う株式追加取得や短期借入金の返済、同社子会社化に係る一連の手続き完了によりのれんが減少したことなどから、総資産が減少している



<主な増減内容>

■ 資産

・現金及び預金の減少	△3,929
・有価証券の減少	△8,999
・のれんの減少	△3,232

■ 負債

・短期借入金の減少	△6,655
-----------	--------

■ 純資産

・四半期純利益	+3,124
・非支配株主持分の減少	△13,292

1 2020年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

【北川工業連結影響】会社概要

2019年1月、T O B（株式公開買付け）成立により、北川工業を子会社化

【会社概要】

会社名	北川工業株式会社
設立年月日	1963年6月12日
資本金	27億7,000万円
従業員数	525名（国内253名、アメリカ14名、ドイツ19名、中国133名、シンガポール15名、タイ57名、台湾23名、香港11名）
事業所	国内5箇所（稲沢、春日井、東京、大阪、宇都宮）、海外10箇所（アメリカ、ドイツ、中国、シンガポール、タイ、台湾、香港）
事業内容	コンピュータ・OA機器・家電製品・自動車・建築物などさまざまな分野で用いられる E M C 対策部品やプラスチック成型技術を生かした精密部品の製造・販売

E M C 対策部品

電子機器の誤作動など様々な悪影響を及ぼす電磁波への対策技術

【フェライトコア】



【ケーブルシールド】



ファスニング

様々な分野において機器内の基盤・ケーブル類を固定、保護するプラスチックファスナー

【クランプ】



【バンド】



機能性製品

制音性、耐久性、快適性による差別化を可能にする振動・衝撃・騒音・熱設計技術

【熱設計製品】



【防音・緩衝・制音製品】

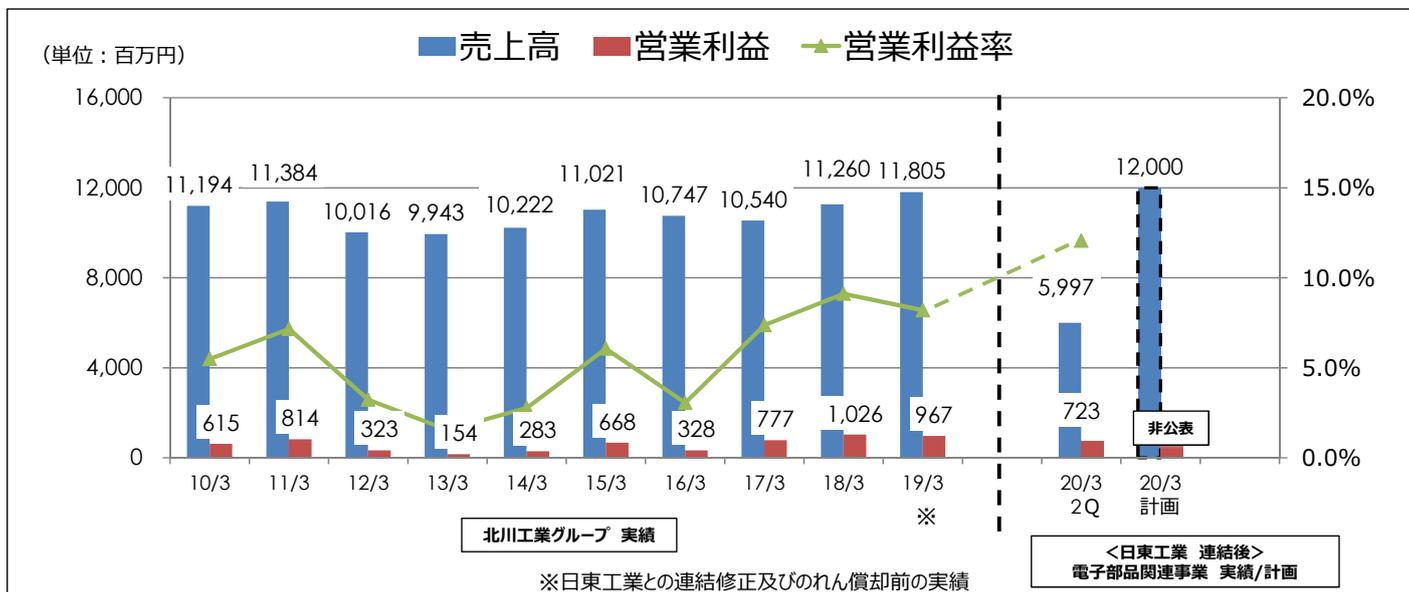


【北川工業連結影響】業績推移

2020年3月期
第2四半期

- 北川工業の過去通期業績は、売上高10,000～12,000百万円、営業利益率は3～8%程度で推移
- 2020年3月期第2四半期、電子部品関連事業の実績は売上高5,997百万円、営業利益723百万円となる
- 輸出向けの半導体製造装置や工作機器に関連した製品の売上は弱い動きで推移するも、国内外の業務用エアコンに関連したEMC対策製品や自動車関連市場の売上が堅調に推移している

【北川工業の業績推移】



※日東工業との連結修正及びのれん償却前の実績

※四捨五入の関係で数字が一致しないことがあります。

【北川工業連結影響】のれんの状況

2020年3月期
第2四半期

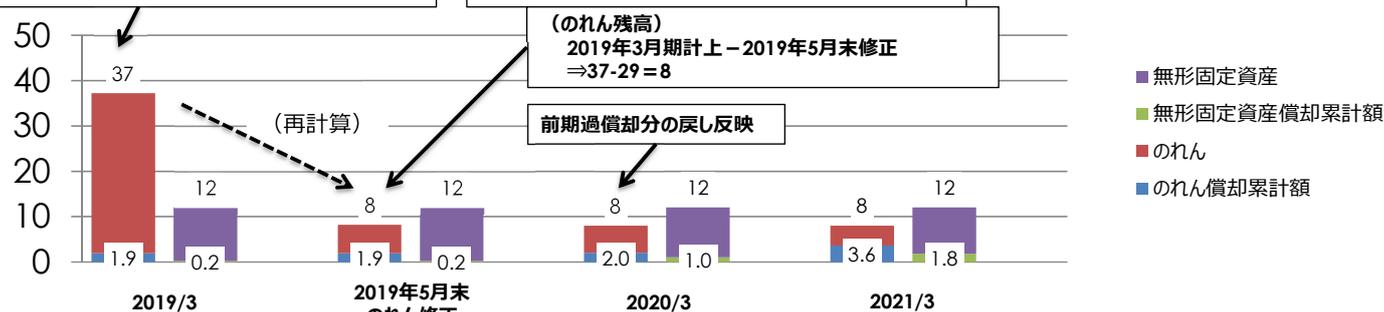
- 北川工業の2019年1月 時価ベースの純資産を272億円と評価
- 2019年3月期は北川工業完全子会社化の途中段階であり、一時的に『のれん』を37億円計上している
- 2020年3月期以降は、取得費用280億円から時価ベースの純資産272億円の差額 8億円を『のれん』として計上する（5年償却）
- 上記の『のれん』とは別に、無形固定資産（顧客関連資産）を12億円計上（15年償却）

【北川工業買収スキーム】 発行済株式総数：8,778千株（自己株除く） ※2019年1月時点

時点	内容	取得株数 (千株)	単価	取得価額 (億円)	議決権保有割合	議決権保有割合に対する純資産 (億円)
① 2019/3月期 3Q	T O B	4,438	@3,943	175	50.6%	138
② 2020/3月期 1Q	特定の株主より自己株取得	4,025	@2,321	93	45.9%	125
	端株買取	314	@3,943	12	3.5%	9
合計		8,778	@3,200	280	100.0%	272

① T O B実施により議決権50.6%を取得
のれん：取得価額 - (純資産×50.6%)
⇒175 - 138 = 37

②実施により議決権49.4%を追加取得（完全子会社）
のれん：取得価額 - (純資産×49.4%)
⇒(93+12) - 134 = △29



※表示単位、四捨五入の関係で数字が一致しないことがあります。

1 2020年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画について

5 参考資料

通期連結業績予想

- 通期連結業績予想を上方修正、通期業績は増収増益を見込む
- 上期は、国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及や学校空調に関連した案件獲得により配電盤関連製造事業の売上が増加したほか、情報通信関連流通事業の売上が堅調に推移
- 下期も、設備投資需要は好調の維持を見込めるため、売上高・各利益ともに期首予想を修正

決算期	2019/3		2020/3					
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比増減率	通期計画(修正前)	通期計画(修正後)	前期比増減率	修正前計画比増減率
売上高	51,742	116,984	64,887	+25.4%	128,000	135,000	+15.4%	+5.5%
営業利益	2,030	6,472	5,072	+149.9%	9,000	11,300	+74.6%	+25.6%
経常利益	2,030	6,405	4,852	+139.0%	9,000	10,900	+70.2%	+21.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,181	4,046	3,124	+164.5%	6,500	7,100	+75.4%	+9.2%

<上期に比べ下期の前年同期比増減率が低い理由>

- 上期は、価格改定効果や北川工業による業績寄与があったほか、期首想定以上の案件獲得などが積み重なったことにより大幅な増収増益となる
- 下期は、グループ全体としては好調を維持するものの、北川工業の業績寄与や価格改定効果などの特殊要因が限定的となることから、上期より前年同期比増減率が低い結果となる見込み

※北川工業は2019年3月期第4四半期に連結

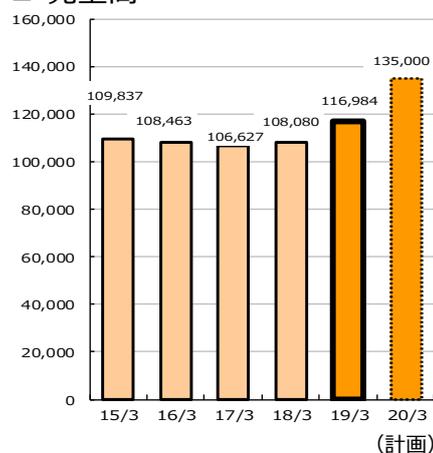
(単位：百万円)

	2019/3			2020/3 (実績及び修正後計画)		
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
売上高	51,742	65,242	116,984	64,887	70,113	135,000
前年同期比増減額				13,145	4,871	18,016
前年同期比増減率				+25.4%	+7.5%	+15.4%
営業利益	2,030	4,442	6,472	5,072	6,228	11,300
前年同期比増減額				3,042	1,786	4,828
前年同期比増減率				+149.9%	+40.2%	+74.6%

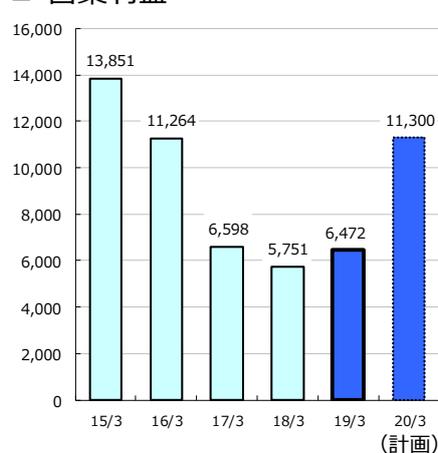
過去5年 連結経営成績

- 2019年3月期の売上高は過去最高を更新
- 2020年3月期は3期連続の増収、2期連続の増益を見込む

■ 売上高

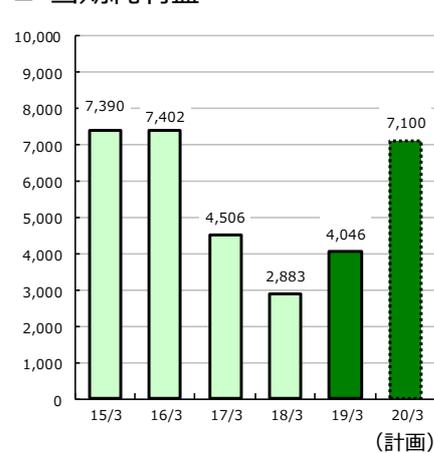


■ 営業利益



■ 当期純利益

(単位：百万円)



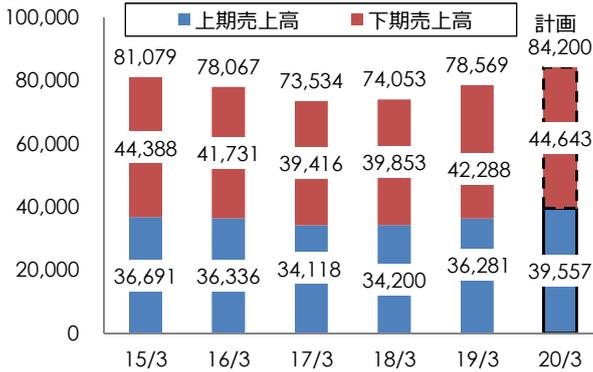
	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 (計画)
売上高	109,837	108,463	106,627	108,080	116,984	135,000
営業利益	13,851	11,264	6,598	5,751	6,472	11,300
当期純利益	7,390	7,402	4,506	2,883	4,046	7,100

業績予想 セグメント別（配電盤関連製造事業）

2020年3月期
第2四半期

◆配電盤関連製造事業 【通期予想】売上高 84,200百万円（前期比 +7.2%）

（単位：百万円）



【通期予想】

・日東工業単体は価格改定効果などから増収を見込み、セグメント全体でも増収を計画

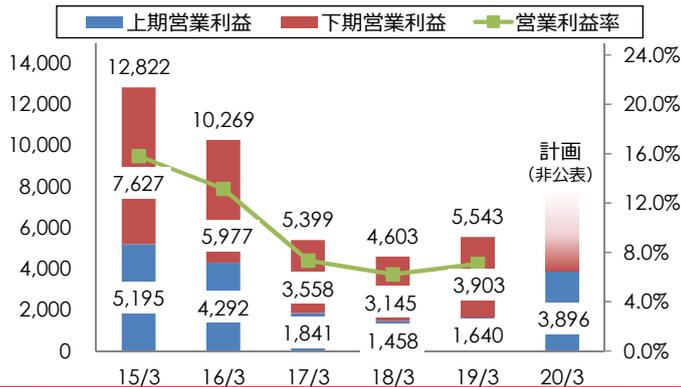
【取り組み】

・熱関連機器を軸としたソリューション提案に注力
・Gathergates社の高利益案件の受注推進および生産コスト削減や、BANGKOK SHEET METAL社との連携強化

【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)	☀️	☀️	大
	(株)新愛知電機製作所	☁️	☁️	小
	(株)大洋電機製作所	☔️	☔️	小
	(株)E C A Dソリューションズ	☔️	☔️	小
海外	日東工業（中国）有限公司	☁️	☁️	小
	Gathergates Group Pte Ltd	☔️	☔️	小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD	☁️	☔️	小

（単位：百万円）

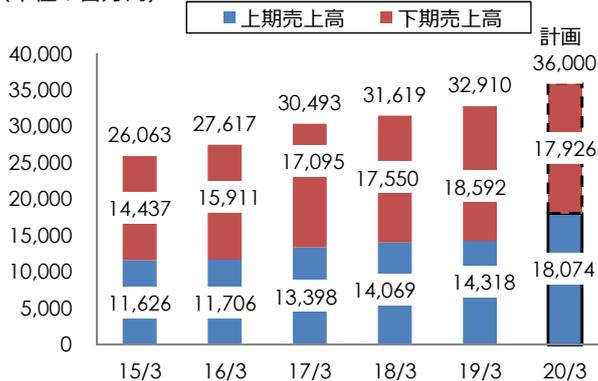


業績予想 セグメント別（情報通信関連流通事業）

2020年3月期
第2四半期

◆情報通信関連流通事業 【通期予想】売上高 36,000百万円（前期比 +9.4%）

（単位：百万円）



【通期予想】

・太陽光関連商材の売上は減少傾向が続く見通し
・オリンピック需要や堅調なデータセンター市場の影響から、主力のネットワーク関連商材の売上増加により増収を見込む

【取り組み】

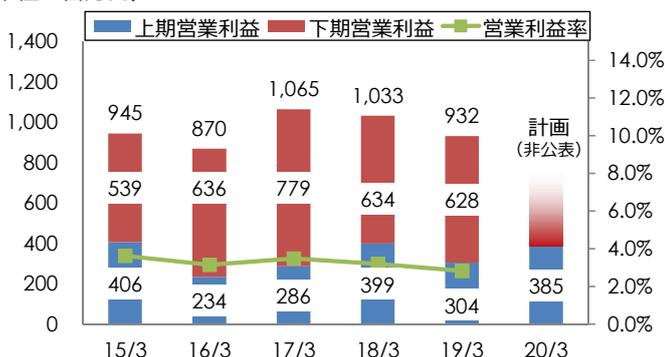
・首都圏再開発やオフィス移転、オリンピック案件の獲得
・5G（第5世代移動通信システム）関連市場での案件獲得活動

【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)	☀️	☁️	中

※本セグメントは、サンテレホン(株)及びその子会社のみ

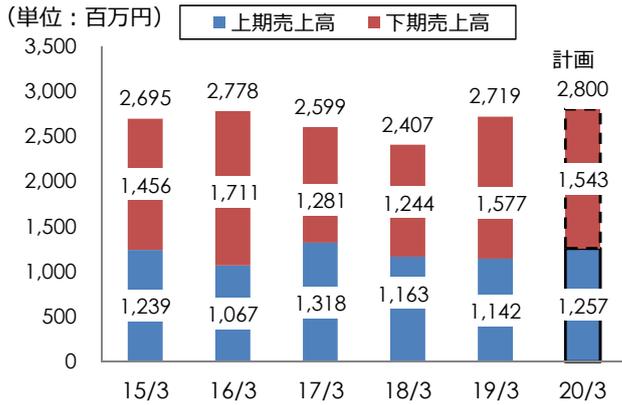
（単位：百万円）



業績予想 セグメント別（工事・サービス事業）

2020年3月期
第2四半期

◆工事・サービス事業 【通期予想】売上高 2,800百万円（前期比 +3.0%）

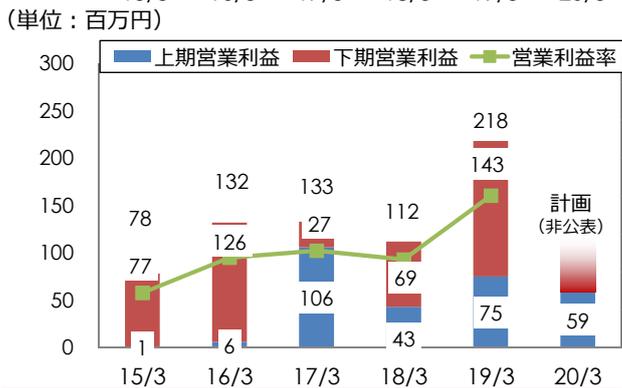


【通期予想】

- ・主力の通信設備工事・電気設備工事は弱い動き
- ・キュービクル・配電盤関連工事による売上増加を見込む

【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力
- ・防災関連サービスの提案活動を推進



【主要グループ会社：通期見通し】

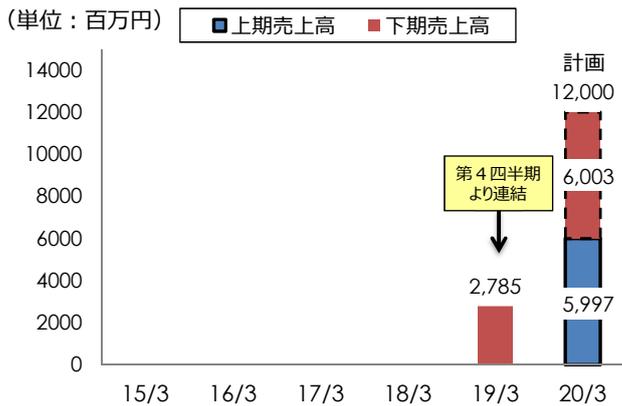
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設(株)			小

※本セグメントは南海電設(株)のみ

業績予想 セグメント別（電子部品関連事業）

2020年3月期
第2四半期

◆電子部品関連事業 【通期予想】売上高 12,000百万円（前期比 +330.8%）

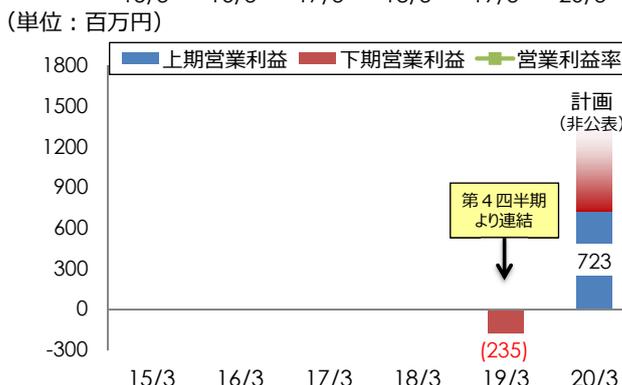


【通期予想】

- ・北川工業グループの業績が通期で寄与し大幅増収を見込む

【取り組み】

- ・EV・HV・PHEV等の環境自動車市場への電磁波対策部品を軸としたソリューション製品提案
- ・5G（第5世代移動通信システム）関連市場での事業拡大（通信基地局、WIFI製品）



【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	北川工業(株)			中

※本セグメントは北川工業(株)およびその子会社のみ

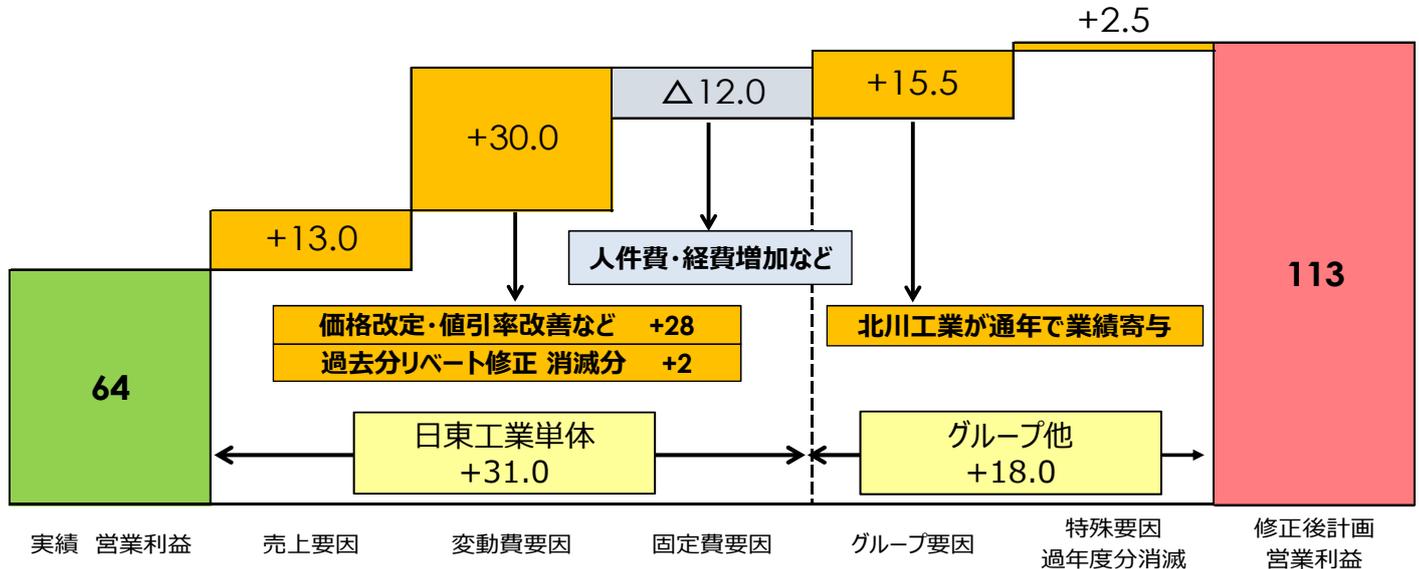
通期連結営業利益の増減要因（今期予想 前期比）

2020年3月期
第2四半期

- 2020年3月期の連結営業利益は前期比74.6%増加の113億円を見込む
- 日東工業単体の価格改定や値引率の改善などが利益の押し上げ要因となる
- グループ要因では、前第4四半期に子会社化した北川工業グループの業績寄与や海外子会社の赤字縮小のほか、機能子会社の増益などが利益の押し上げ要因となる

【2019/3月期 実績】

(単位：億円)
【2020/3月期 計画】



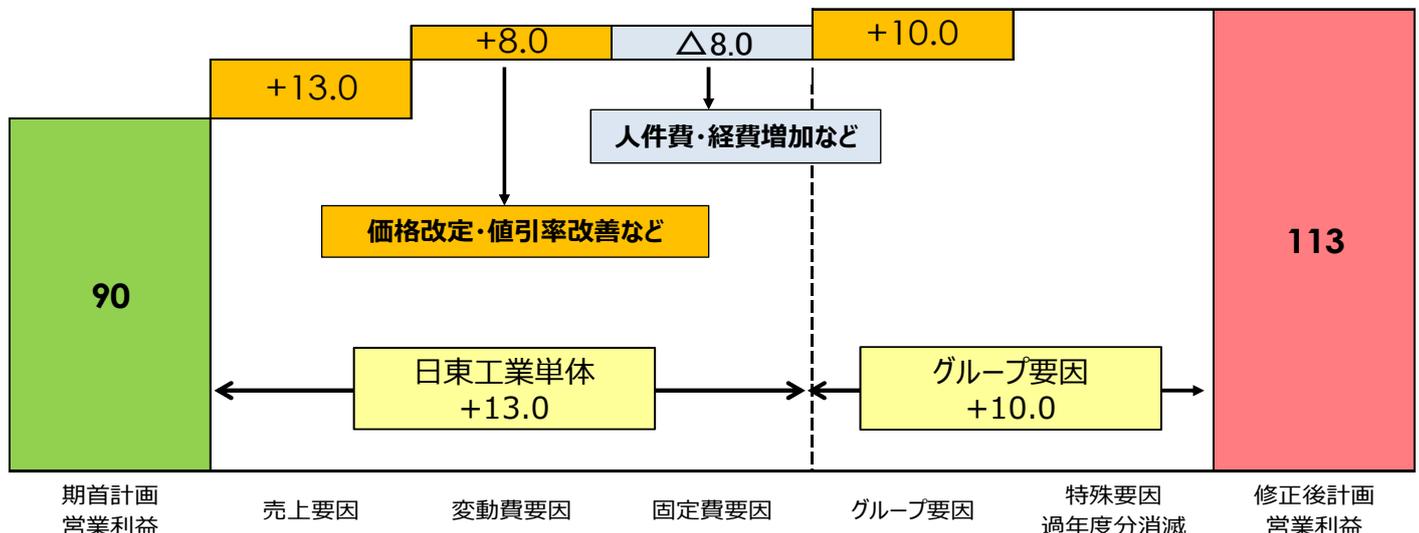
通期連結営業利益の増減要因（今期予想 期首計画比）

2020年3月期
第2四半期

- 2020年3月期の連結営業利益を期首計画比25.6%増加の113億円へ上方修正
- 日東工業単体要因では、販売数量増加による利益の増加（売上要因）は見込んでいなかったが、学校空調に関連した案件獲得などにより期首計画を上回る見込み
- グループ要因では、情報通信関連流通事業や電子部品関連事業、機能子会社の増益が期首計画を上回る見込み

【2020/3月期 期首計画】

(単位：億円)
【2020/3月期 計画】



通期連結営業利益の増減要因傾向

2020年3月期
第2四半期

<日東工業単体>

- ・売上要因 販売数量は増加傾向が続く見通し
- ・変動費要因 値引率 … 2019年3月期より改善傾向が続く見通し
価格改定 … 2019年3月期下期の改定以降、増益効果が継続
- ・固定費 経費 … 一進一退の状況が続く
人件費 … 増加傾向が続く見通し

<グループ要因>

- ・グループ会社は厳しい状況が続いていたが、北川工業の業績寄与により2020年3月期は好転を見込む

(単位：億円)

↑: 押上げ要因 ↓: 押下げ要因			2018/3 実績	2019/3 実績	2020/3 計画
営業利益			57	64	113
前期比増減額			△8	+7	+49
増減要因	日東工業単体	売上要因	↑	↑	↑
		変動費要因	↓	↑	↑
		固定費要因	↓	↓	↓
	グループ要因		↓	↓	↑

新エネルギー関連市場の売上動向 (日東工業単体参考)

2020年3月期
第2四半期

- ・ 2Q実績は前年同四半期比106.8%、通期計画達成率は70.4%となる
- ・ 改正FIT法の影響による駆け込み需要の影響や太陽光発電システムと蓄電池を連動するためのシステムに対応した住宅用分電盤の売上が増加したことなどにより想定を上回る水準で推移している

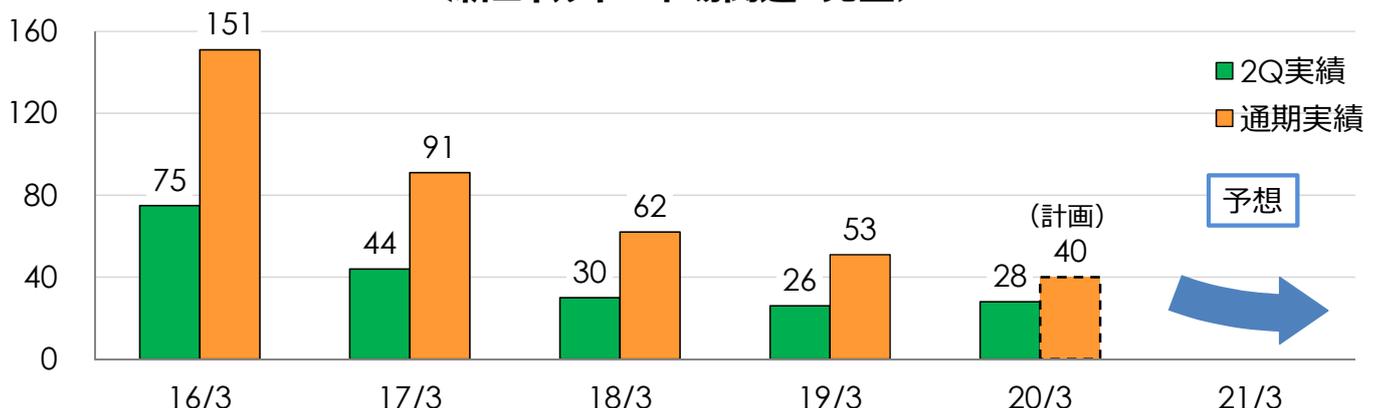
「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連（接続箱、集電箱など）
- ②自動車関連（充電スタンド）
- ③その他：エネルギー管理システム関連など

※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

(単位：億円)

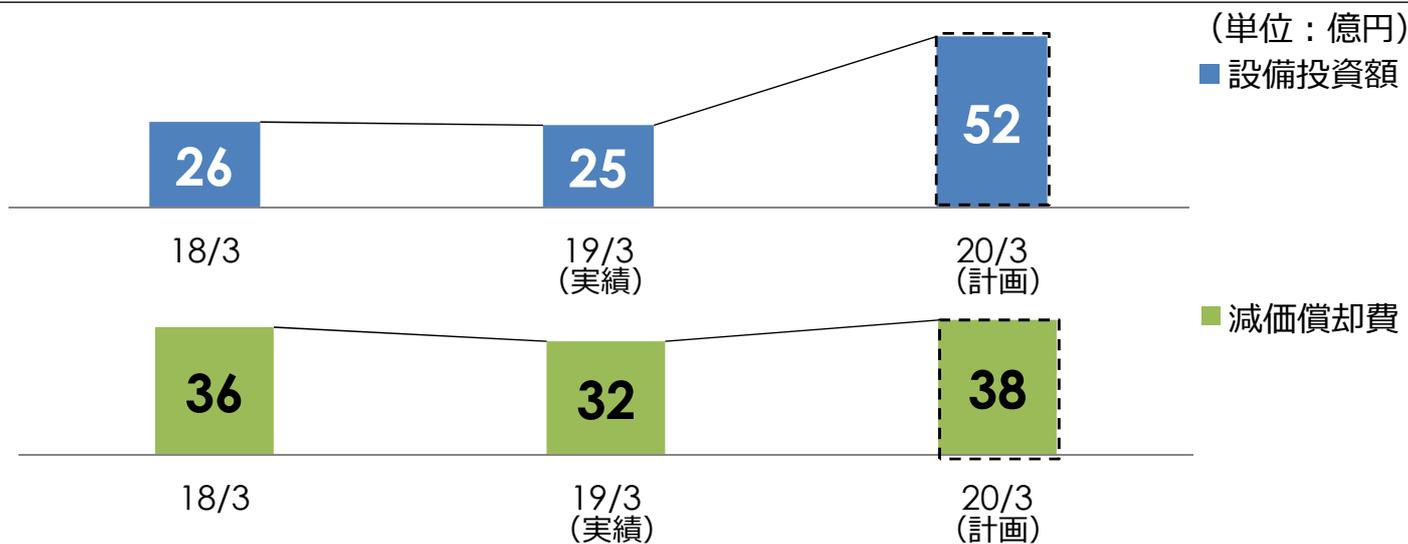
<新エネルギー市場関連 売上>



設備投資額、減価償却費

2020年3月期
第2四半期

- 2020年3月期は、設備投資額51.8億円、減価償却費37.6億円を計画
- 設備投資計画見直しにより、期初計画比で約10億円減少
- 設備投資計画は、北川工業の新試験棟設立や日東工業の基幹システム更新、機械設備の更新などにより前期比で大幅増加予定



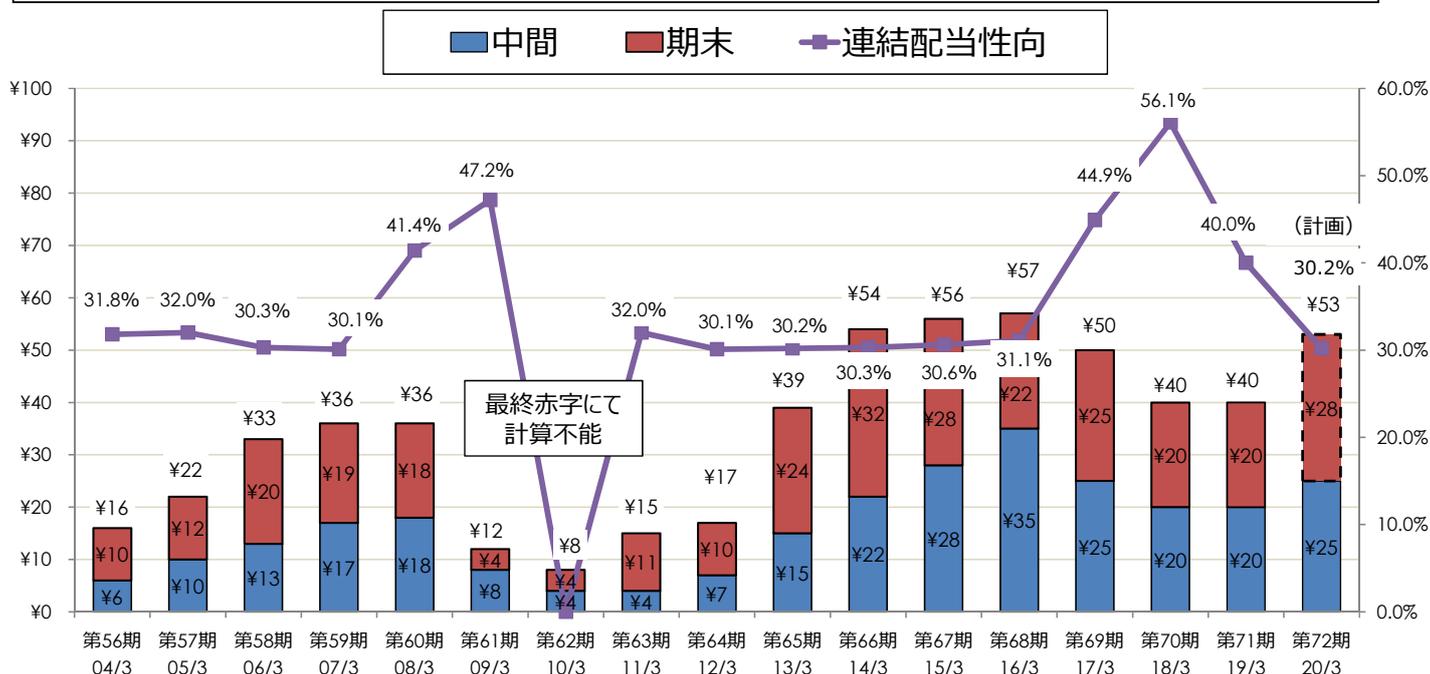
※2019年5月15日に公表した金額（設備投資額6,250百万円 減価償却費3,850百万円）から変更しています。

※1千万円単位を四捨五入しています

配当の状況

2020年3月期
第2四半期

- 中間配当金は25円
- 通期予想配当額を50円→53円に増額（前期実績40円）
- 業績の上方修正を行ったことにより配当予想も引き上げ



1 2020年3月期 第2四半期決算概要

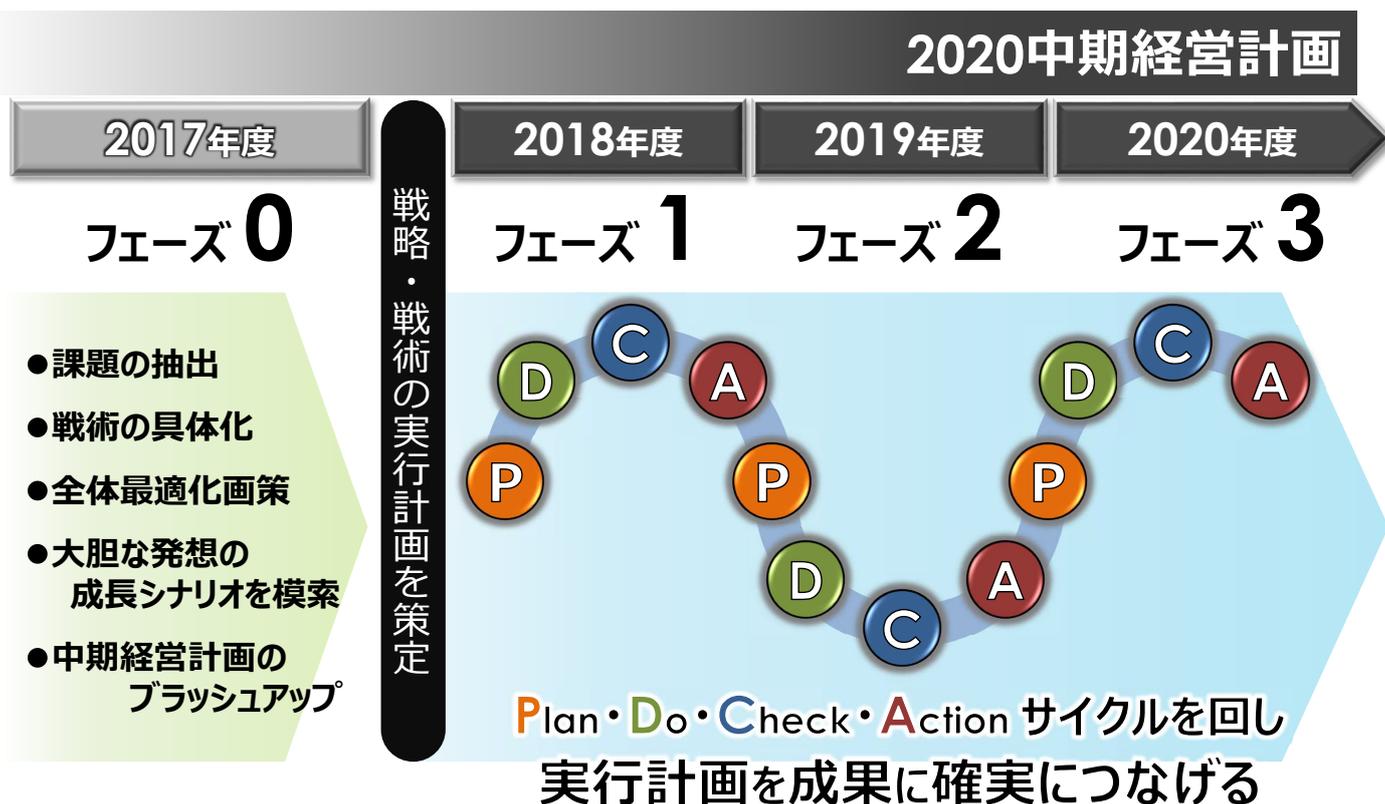
2 トピックス：北川工業連結影響

3 通期連結業績予想

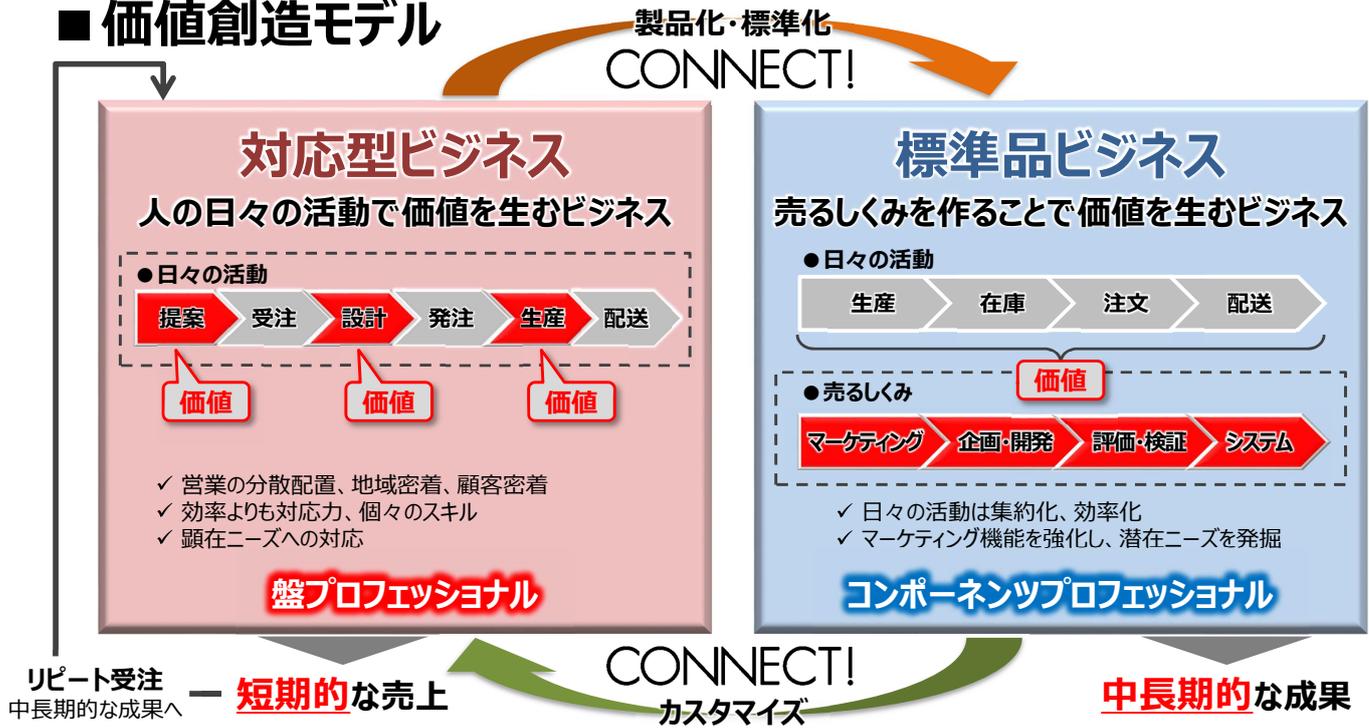
4 中期経営計画について

5 参考資料

2020中期経営計画 4か年計画



■ 価値創造モデル

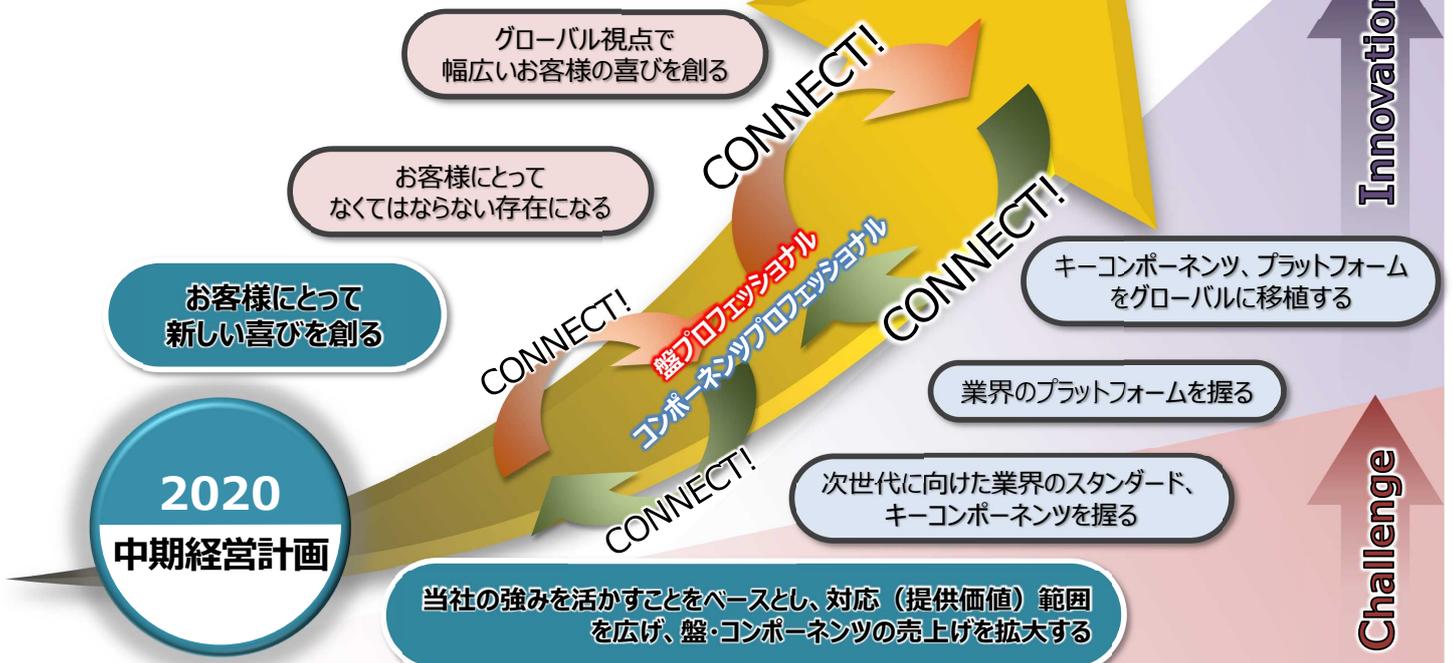


両ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続

長期ビジョン 次世代ビジネスモデルへのシナリオ

次世代のビジネスモデル

盤プロフェッショナル・コンポーネントプロフェッショナル
新たな分野へ CONNECT!



スローガン

CONNECT!
～電気と情報をつなぐ～

長期ビジョン

信頼、技術、貢献
～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

盤プロフェッショナル
コンポーネントプロフェッショナル
新たな分野へ CONNECT!

2020中期経営計画

挑戦 次世代のビジネスモデルへ

2016中期経営計画

顧客志向企業としての能力を卓越させる

実現に向け、柱となる
6つの戦略テーマ

2020中期経営計画 戦略テーマ

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

2020中期経営計画 業績目標

2020年3月期
第2四半期

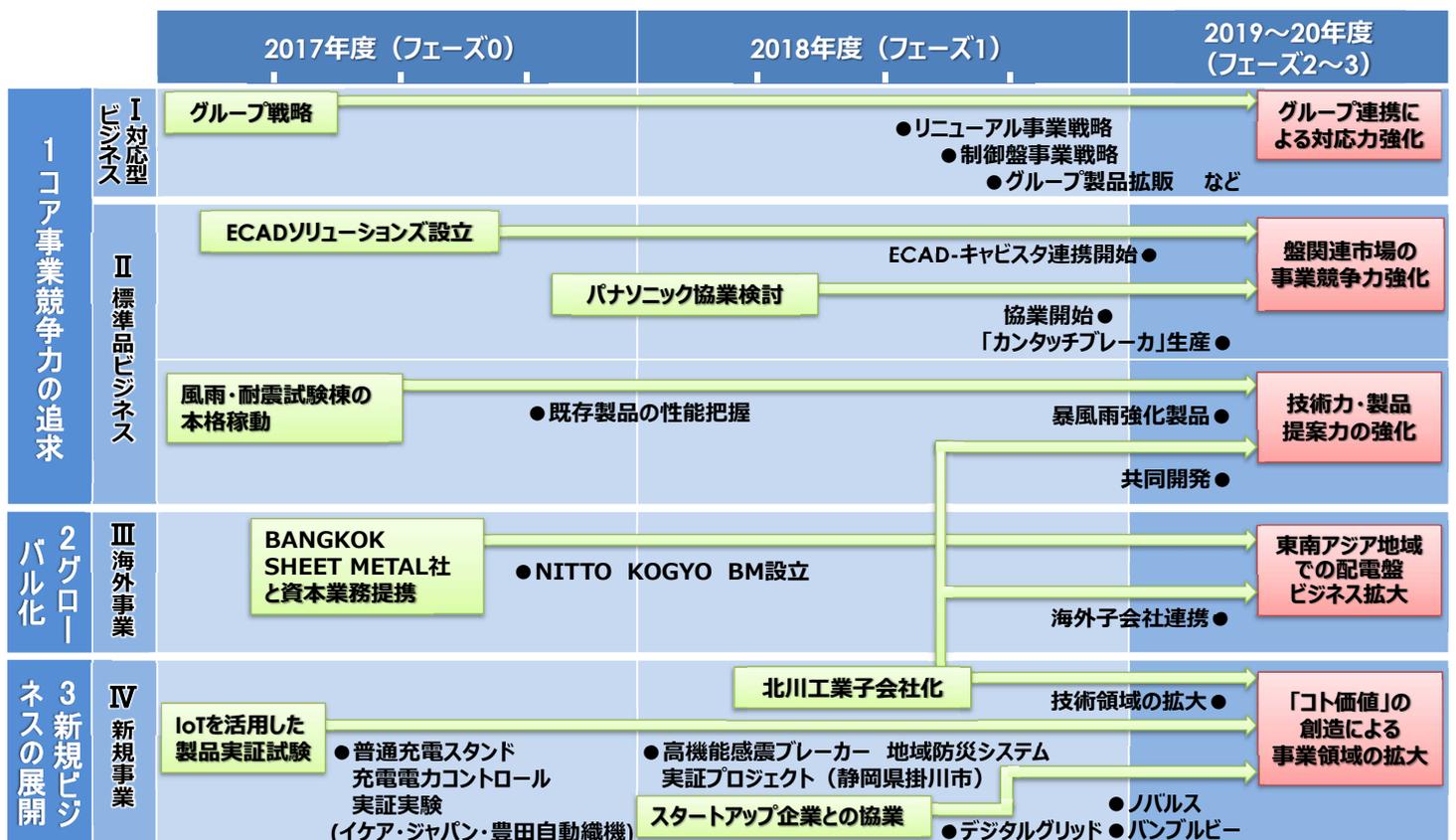
(単位：億円)

	2016年度 実績 (計画策定時)	2018年度 実績	2019年度 計画	2020年度 目標
連結売上	1,066	1,169	1,350	1,250
(内 単体売上)	674	713	775	750
対応型ビジネス	465.5	481.1	525.0	470.0
標準品ビジネス	207.0	230.2	247.0	240.0
新規事業	1.5	1.7	3.0	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(329)	(360)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(41)	(-)	(70)
連結営業利益	65	64	113	100
(内 単体営業利益)	50	55	86	75

- ・中期経営計画の目標は1年前倒しで達成を見込む(※「新規事業」を除く)
- ・「海外事業」は、北川工業の海外事業の内容等を精査中のため2018年度実績には同社を含めておらず、2019年度計画は非公表
- ・「新規事業」は、EVインフラ事業をはじめ、コト価値の創造に注力しているが、実証実験のフェーズがしばらく続く想定される

事業戦略の進捗状況 (1/5)

2020年3月期
第2四半期



事業戦略

コア事業 / I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

ビジョン：盤関連事業の対応力をきわめ、頼られるベストパートナーを目指す

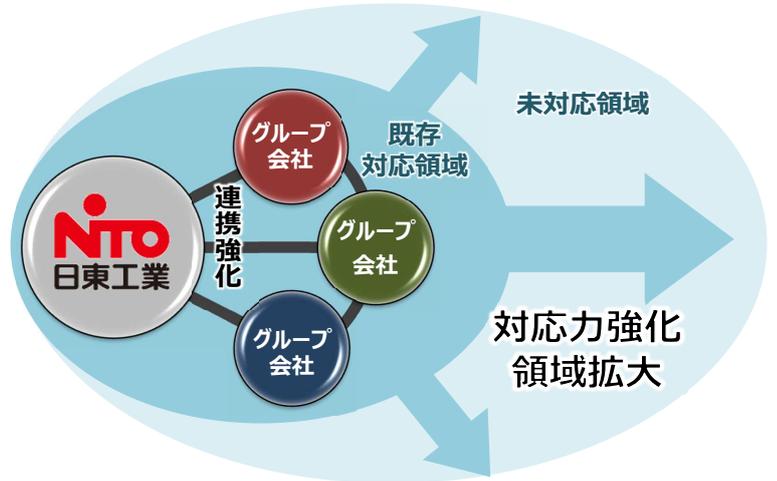
グループ連携による対応力強化

フェーズ0～1

- ◆ グループ戦略の立案
 - ✓ グループ会社の得意領域・ノウハウ・技術を活かした具体的な戦略を策定

今後の展開(フェーズ2～3)

- ✓ グループ全体で戦略を実行し、対応力強化、対応領域を拡大する
- ・ リニューアル事業戦略
- ・ 制御盤事業戦略
- ・ グループ製品の拡販 など



事業戦略

コア事業 / II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]

ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

盤関連市場の事業競争力強化

フェーズ0～1

- ◆ ECAD-キャビスタ連携開始 (2019/4)
 - ✓ 電気設計CAD「ECADシリーズ」とWeb穴加工サービス「キャビスタ」を連携させ、顧客満足度を向上させる
- ◆ パナソニックとの協業開始 (2019/3)
 - ✓ お互いの経営資源を有効活用し、配電盤事業等においてより付加価値の高い製品・サービスを提供する

今後の展開(フェーズ2～3)

- ✓ 自動設計技術の更なる進化により、顧客利便性の向上につなげる(ECAD)
- ✓ 2019年度中 パナソニックが販売する「カンタッチブレーカ」の生産開始。その他、配電盤製品の一部についても生産委託を開始予定

技術力・製品提案力の強化

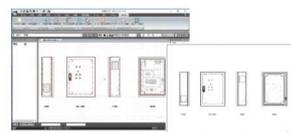
- ◆ 風雨・耐震試験棟の本格稼動 (2017/9)
 - ✓ 過酷な設置環境に対する性能検証方法の確立
 - ✓ 既存製品の性能把握
 - ⇒ 暴風雨強化製品
- ◆ 北川工業の子会社化 (2019/1)
 - ⇒ FA市場向け製品の共同開発を検討

株式会社ECADソリューションズ

株式会社ワコムが電気CAD事業(エンジニアリングソリューション事業)は、新設分割により日東工業グループの一員となりました。(2017年12月1日付)

ECAD®

国内導入実績No.1の電気設計専用CAD



NITO 日東工業株式会社

キャビネット [キャビスタ]

電気機器収納用キャビネットのトップメーカー
穴加工図面作成Webシステム『キャビスタ』



DIRECTLY COOPERATE
ダイレクト
に連携

事業戦略

Ⅲ 海外事業

ビジョン：海外で活躍する産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大

フェーズ0

- ◆ タイ現地メーカー(BANGKOK SHEET METAL社)と資本業務提携(2017/11)
 - ✓ 東南アジア市場における、配電盤事業体制の構築

フェーズ1

- ◆ 北川工業の子会社化(2019/1)
 - ✓ 北川工業の海外子会社と連携し、海外市場開拓を加速させる

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ 日東工業、Gathergates社(シンガポール)の配電盤・キャビネットの製品開発力と、BANGKOK SHEET METAL社(タイ)の優れた製造技術を融合させる



事業戦略

Ⅳ 新規事業

ビジョン：失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する

「コト価値」の創造による事業領域の拡大

フェーズ0

- ◆ IoTを活用した製品実証実験開始
 - ✓ 高性能感震ブレーカーによる実証実験(掛川市:地域防災システム)
 - ✓ 普通充電スタンドによる充電電力コントロール実証実験(イケア・ジャパン株式会社、株式会社豊田自動織機)

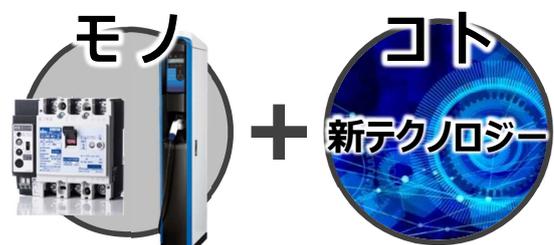
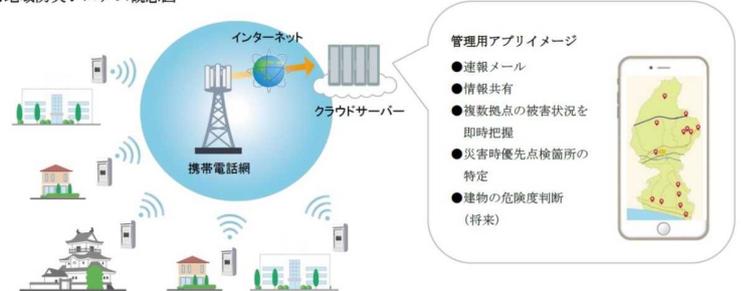
フェーズ1

- ◆ スタートアップ企業との協業
 - ✓ 電力識別技術...デジタルグリッド社
 - ✓ 通信機能付き乾電池...ノバルス社
 - ✓ スマート宅配システム...バンブルビー社
- ◆ 北川工業の子会社化(2019/1)
 - ✓ 技術領域の拡大

今後の展開(フェーズ2~3)

- ✓ 事業化に向け、実証販売へと進展させる
- ✓ IoT技術を組み込んだ製品の開発を推進する
- ✓ 製品で得られるデータを活用した新たなサービスを創出し、事業化を目指す
- ✓ スタートアップ企業各社と新規事業に向けた実証実験を進める

■地域防災システム概念図



- 1 2020年3月期 第2四半期決算概要
- 2 トピックス：北川工業連結影響
- 3 通期連結業績予想
- 4 中期経営計画について
- 5 参考資料

ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード：6651



【事業セグメント：配電盤関連製造事業】

2020年3月期
第2四半期

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

日東工業株式会社	分・配電盤、キャビネット等の製造、販売
主要グループ会社	主要製品・事業内容
株式会社新愛知電機製作所	電気用諸機械器具の設計、製造、販売、修理等
株式会社大洋電機製作所	産業機械用制御システム、ソフトウェア等の製造、販売
株式会社E C A Dソリューションズ	電気設計、ハーネス設計専用C A Dシステムの開発、販売
日東工業（中国）有限公司	キャビネット・パーツ類等の製造、販売
Gathergates Group Pte Ltd	分・配電盤、制御盤、メーターボックス製造、販売
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売、日本・海外企業製品の仕入販売

配電盤



高圧受電設備



分・配電盤



ブレーカ



パーツ・その他



パーツ



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

2020年3月期
第2四半期

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売



ネットワークカメラ

それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売



高速ネットワーク機器

無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売



情報セキュリティ関連製品

様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

事業セグメント：工事・サービス事業

2020年3月期
第2四半期

■ 電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主要製品・事業内容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク事業、電気設備事業等

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、セキュリティ設備、LAN配線などの通信設備工事

電気設備事業



受電設備、計装設備、照明設備、電源コンセント、空調設備等の電気設備工事

その他



- ・ EV・PHEV用充電スタンドの保守・メンテナンス
- ・ 緊急地震速報設備の設置、配信サービス、メンテナンス

など

事業セグメント：電子部品関連事業

2020年3月期
第2四半期

■ 電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
北川工業株式会社	電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

電磁波環境コンポーネント

電磁波による電子機器の誤作動防止などを目的とする電子部品の製造、販売

【フェライトコア】



【ケーブルシールド】



精密エンジニアリングコンポーネント

プラスチックファスナー等の各種機器機構部品や生産性向上に貢献する熱・振動・衝撃・騒音への対策部品等の製造、販売

【クランプ】



【バンド】

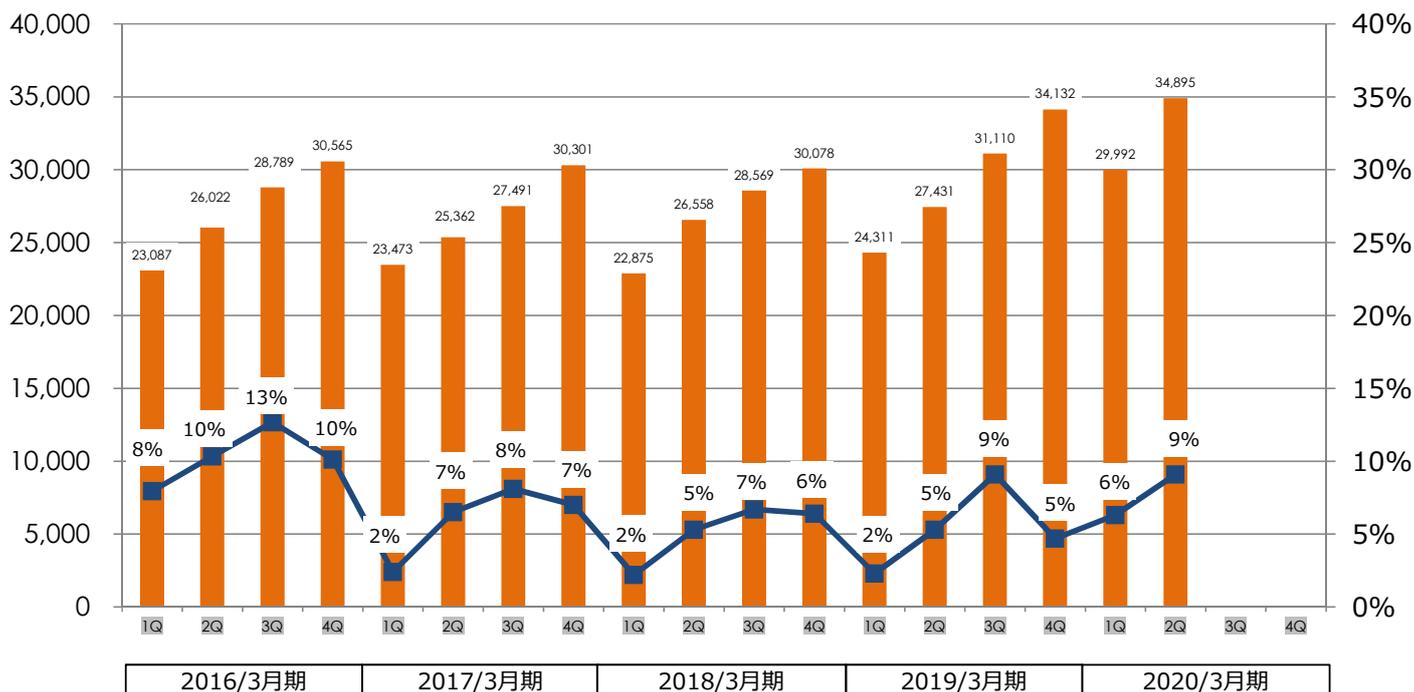


連結売上高の推移（四半期）

2020年3月期
第2四半期

(単位：百万円)

■売上高 ■営業利益率

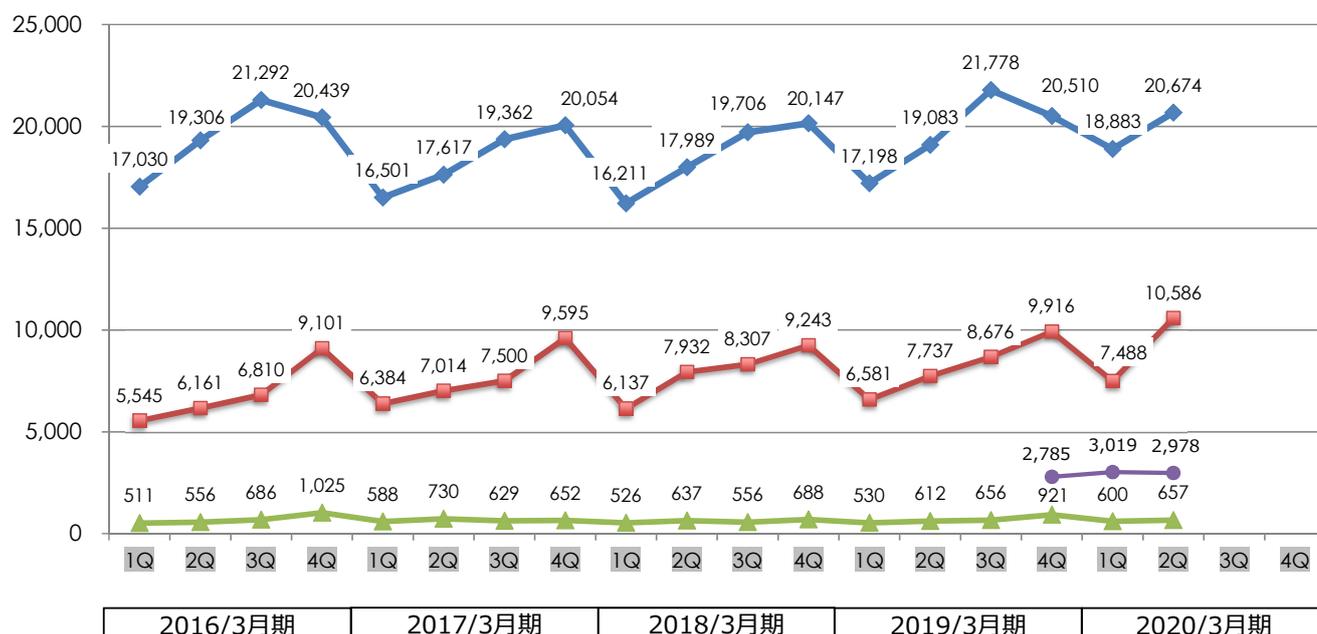


セグメント別 売上高の推移（四半期）

2020年3月期
第2四半期

◆配電盤関連製造事業 ◆情報通信関連事業 ◆工事・サービス事業 ◆電子部品関連事業

(単位：百万円)

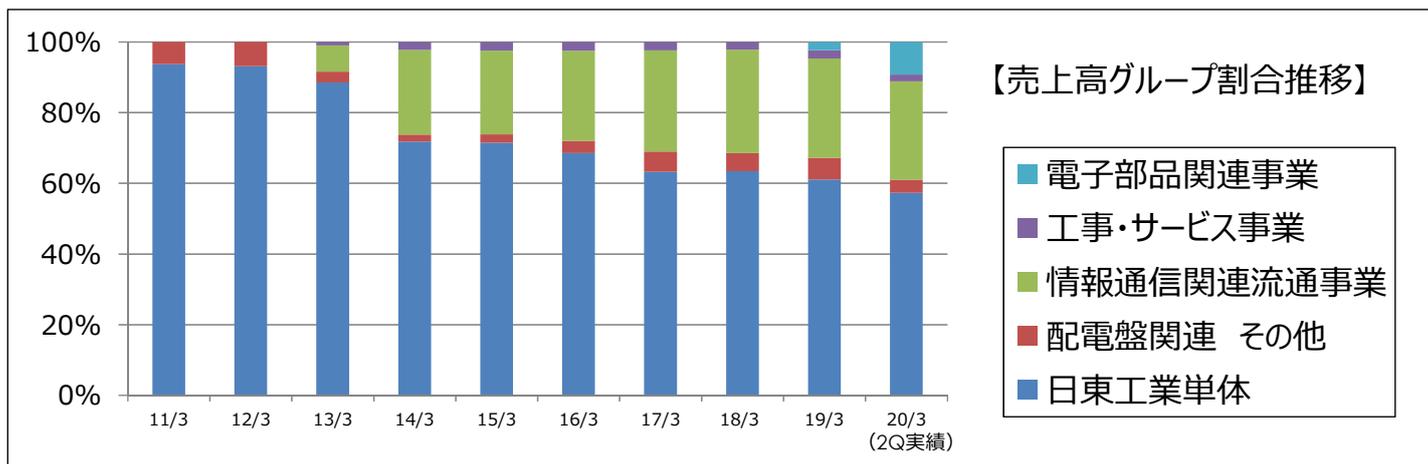


グループ連結状況（2017/3月期～）

2020年3月期
第2四半期

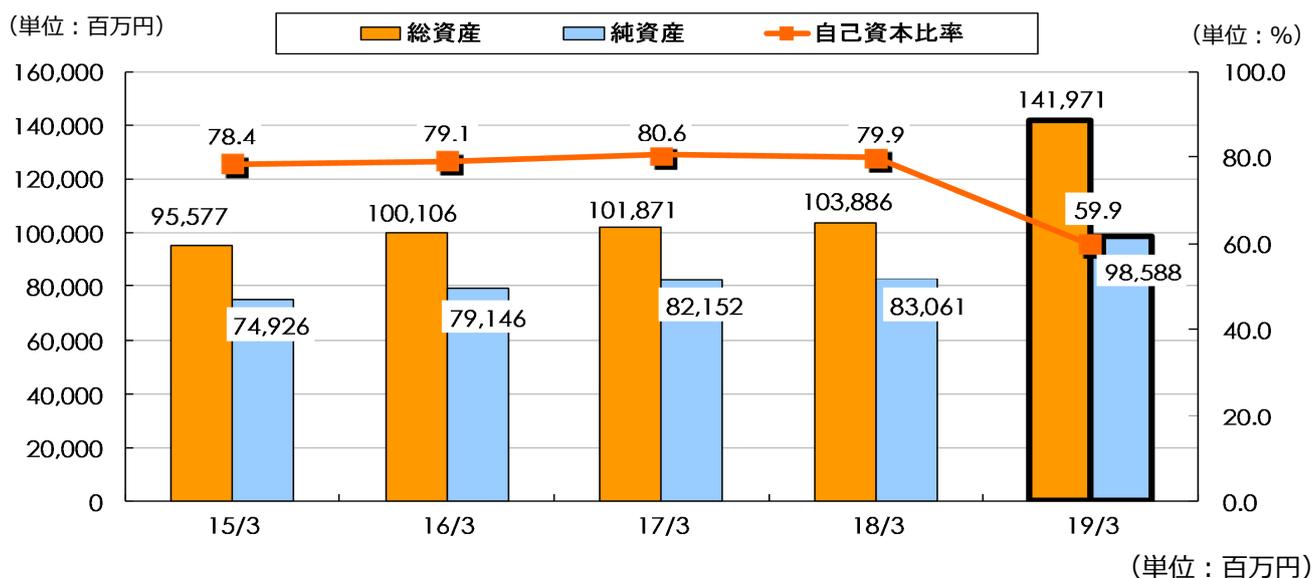
【子会社 連結時期】	2018/3月期				2019/3月期				2020/3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
株式会社ECADソリューションズ			○							
北川工業株式会社										

○：B/Sのみ連結



総資産・純資産・自己資本比率

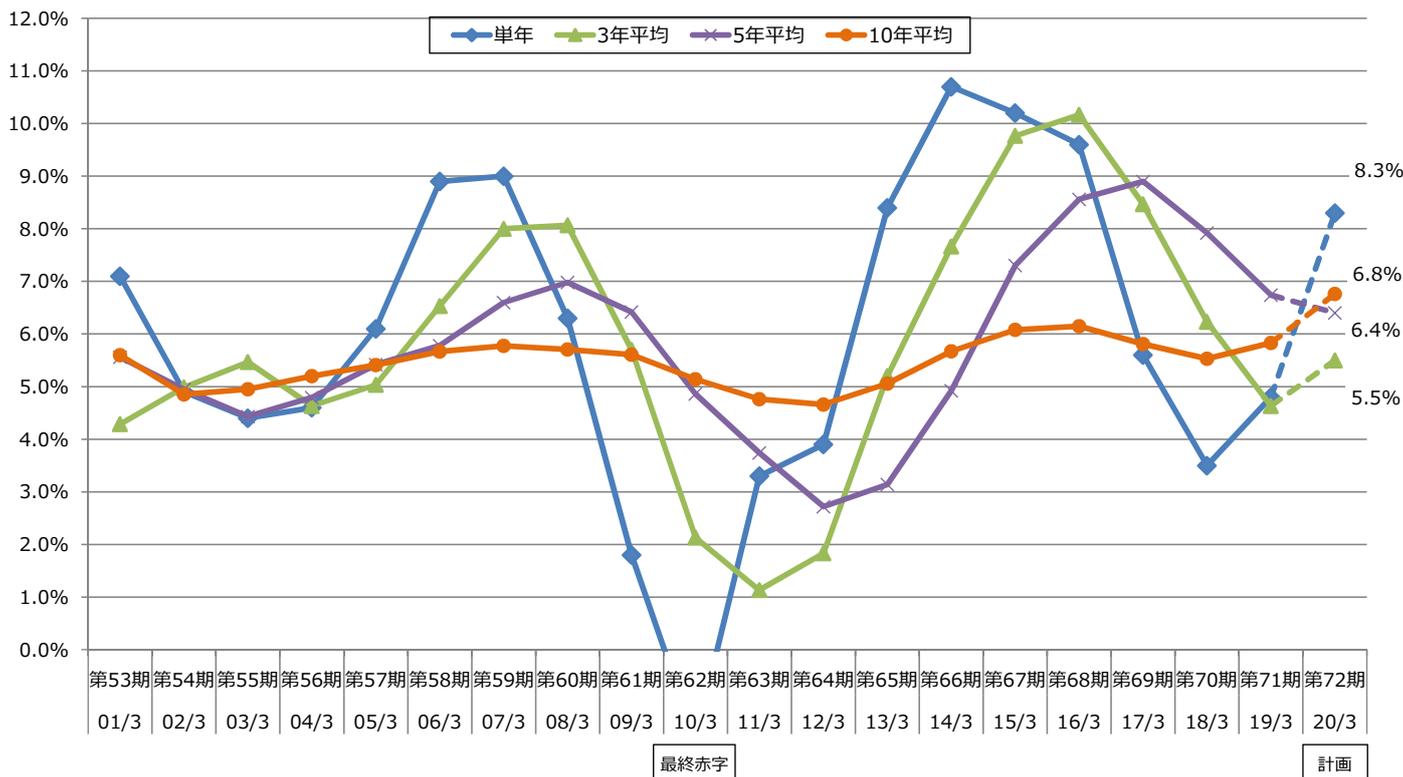
2020年3月期
第2四半期



	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3
総資産	95,577	100,106	101,871	103,886	141,971
純資産	74,926	79,146	82,152	83,061	98,588
自己資本比率	78.4%	79.1%	80.6%	79.9	59.9

ROE（自己資本当期純利益率）の推移（連結）

2020年3月期
第2四半期

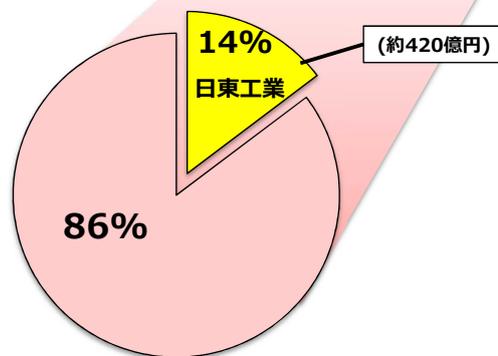
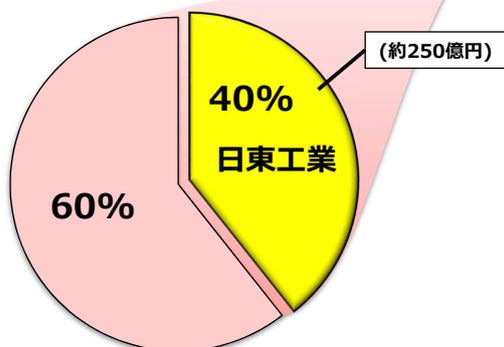


市場とシェア

経済産業省「生産動態統計調査サービス」等
に基づく当社推定値

2020年3月期
第2四半期

標準品市場でキャビネットはシェアNo.1！配電盤はシェアNo.2！（※）

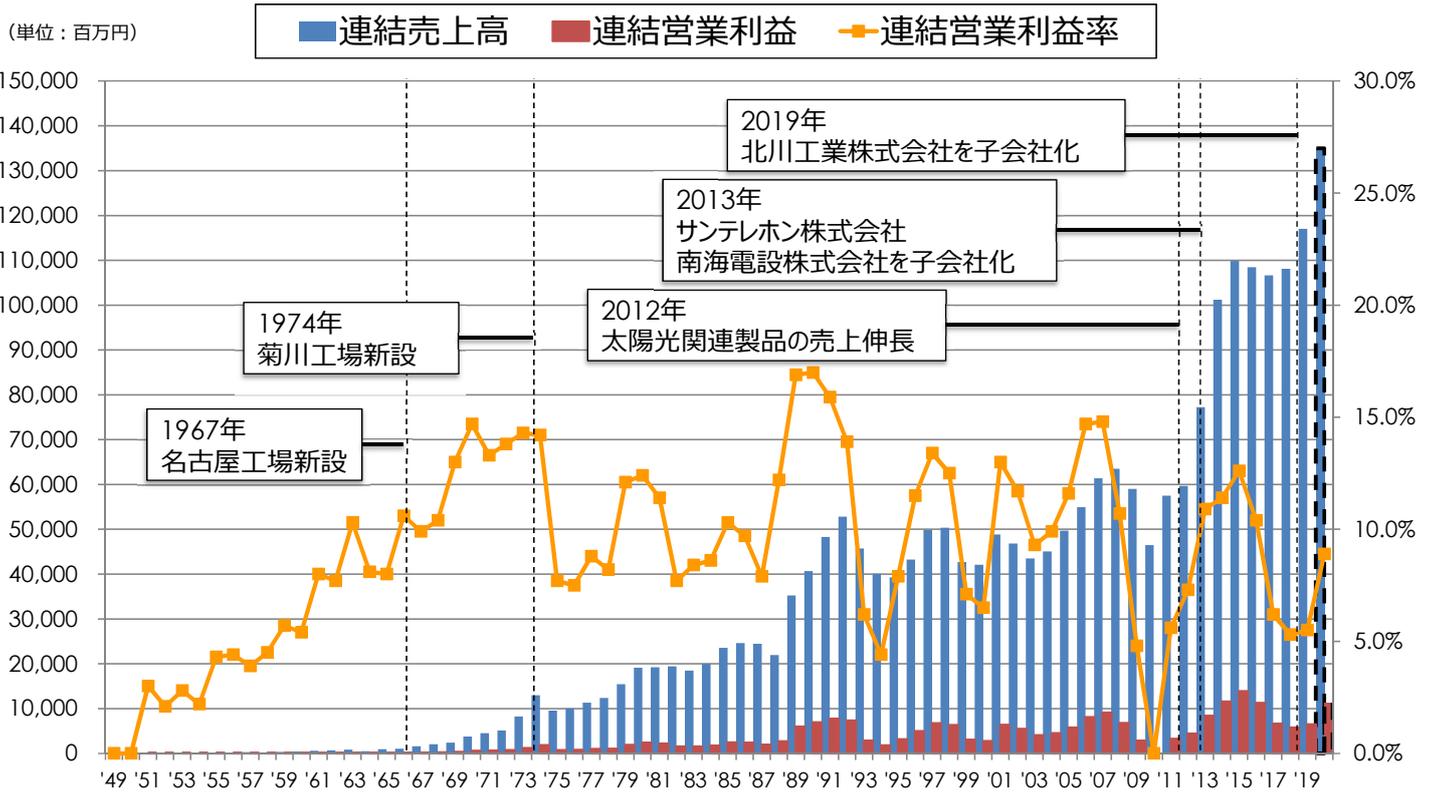


※キャビネット市場にシステムラック、配電盤市場に光接続箱を含む

	カスタム品	標準品
生産方式	受注生産	計画生産
納期	長期	短期
コスト	高	低

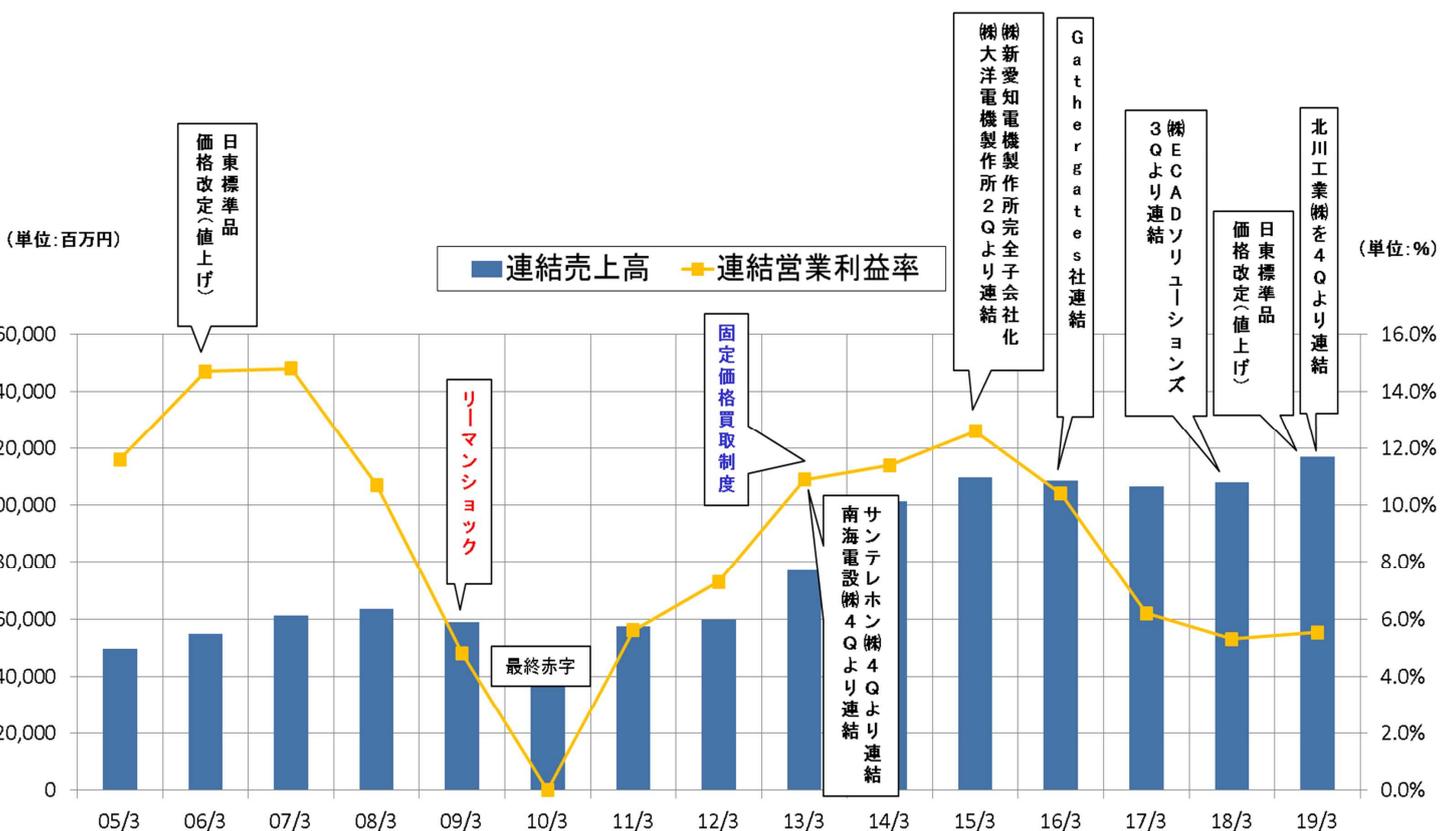
業績推移 設立～現在

2020年3月期
第2四半期



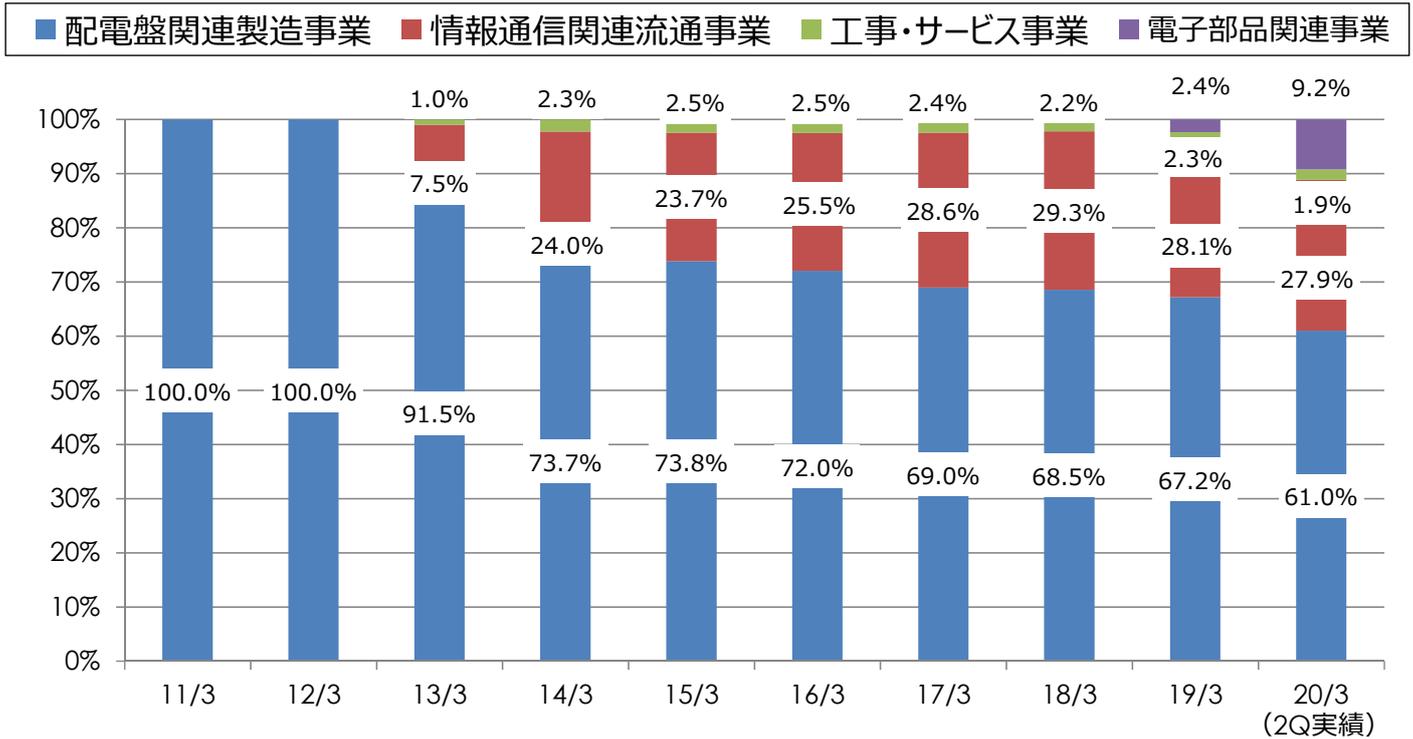
業績推移 2005/3月期～現在

2020年3月期
第2四半期



事業セグメント別 売上高構成比

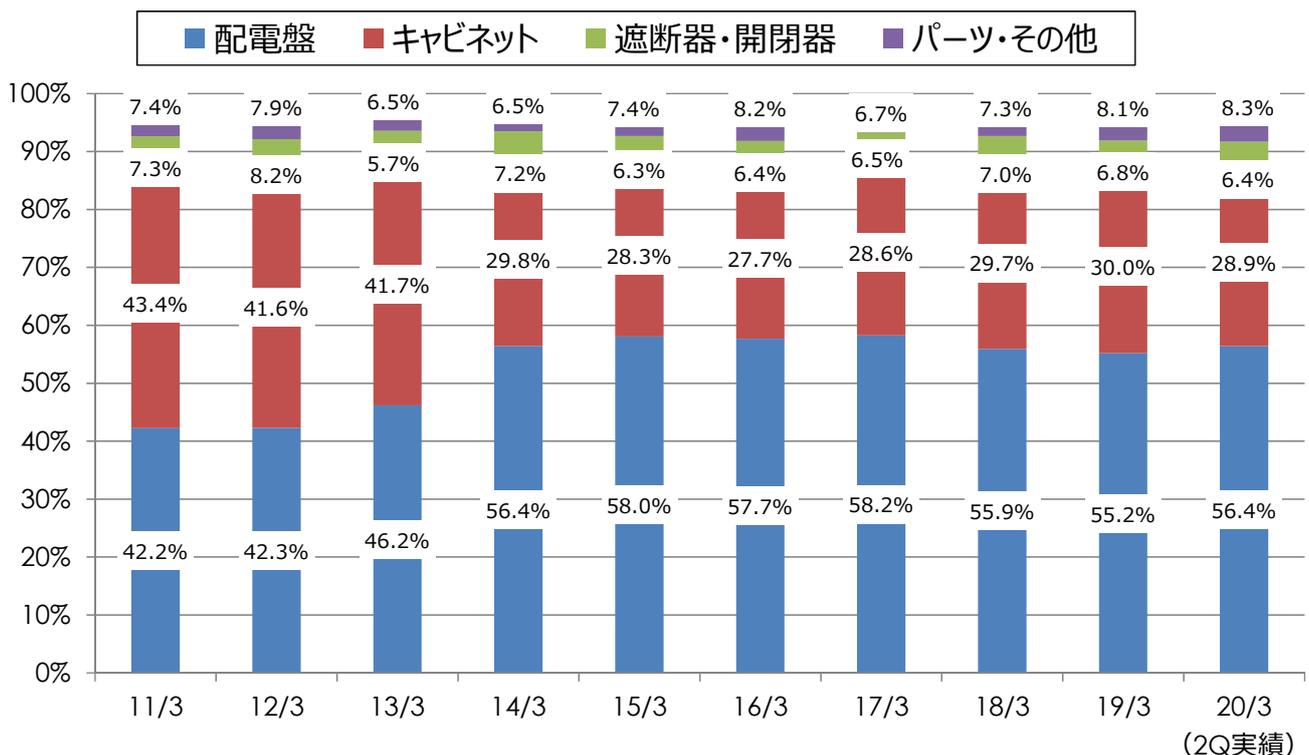
2020年3月期
第2四半期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

配電盤関連製造事業 (部門別売上高構成比率)

2020年3月期
第2四半期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

電気自動車用充電スタンド

急速充電
(当社非対応)

普通充電

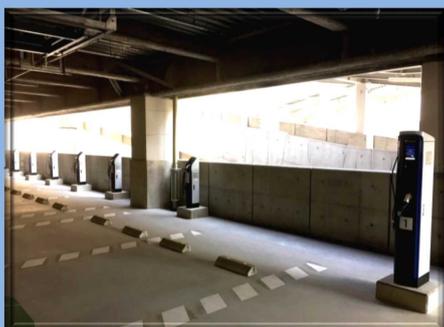
日東工業の事業領域

【パブリック用】

【ご家庭・プライベート用】

EVC2

Pit



EVR

Pit-C3

